



ヨセフの生涯

Vol. 91, No.1

2015年1月-3月

目次

ヨセフー夢見る者	5
ヨセフのための神のご計画	10
ヤコブの感化力	15
エジプトへの道中	20
すべてのことにおいて忠実	26
ヨセフの最大のテスト	31
腐敗した時代での純潔	36
クリスチャン品性の発達	41
牢獄から王宮へ	46
最初の出会い	52
二回目の出会い	57
家族が再び一つに	62
キリストの型	67

セブンスデーアドベンチス
ト改革運動世界総会安息
日学校部 (P.O.Box 7240
Roanoke, Virginia 24019-
0240, U.S.A)

安息日聖書教科 Vol.91, No.1

編集&発行:
S DA改革運動日本ミッション

〒368 - 0071
埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保
1607 - 1

TEL : (0494) 22-0465

FAX : (0494) 40-1045

URL :
<http://www.4angels.jp>

E-mail:
support@4angels.jp

イラスト : Illustrations:
Goodsalt on front cover;
MapResources on pp. 4, 51,
and back cover.

安息日聖書教科は、他のコメントをいっさい加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。引用文は、簡潔で直接的な見解を提供するために、可能なかぎり短くされています。ある部分では、明瞭さや、適切な前後関係、また読みやすさのために〔 〕の括弧が使われています。抜粋されている原文をさらに研究することをぜひともお勧めします。

まえがき

わたしたちは未曾有の悪の時代に生存しています。聖書は適切に、わたしたちの時代をノアの時代にたとえています。人類は、将来の裁きを考えずに食べ、飲み、めとり、とついでいます。神の裁きはわたしたちの周囲に下っており、目の前の危機についてわたしたちを警告しています。同程度の悪と世俗に囲まれていながら、ヨセフは純潔で聖なる生涯を送りました。彼は人生のほとんどを当時最大の国家であったエジプトで過ごしました。彼は様々な状況を通じて生きましたが、どこで召されても忠実でした。難しく厳しい状況のただ中での忠実な人生は、わたしたちにとって模範です。

「ことにヨセフは、大きな運命の変化をともなった数々の試練に会ったのであった。彼は少年時代を父のひざもとに愛されて育ち、ポテパルの家にあつては奴隷となり、やがて主人の信任を得てその友となり、学問と観察と人々との接触によって教養を身につけた家宰（いえずかき）となり、無実の罪をうけて弁明の自由も赦免の望みもなく国家の罪人としてパロの牢獄につながれたが、非常な危機に際して国民の指導者として召し出されたのであった。そうした中であつて、彼に誠実な心を持ち続けさせたのは何であつたろうか。……

羊飼いの少年として、父の羊の群れの見張りをしていたヨセフの純朴な生活は、彼に体力と知力の発達をもたらした。ヨセフは、自然を通して神と交わり、聖なる委託物として父から子へ伝えられたとうい真理を学んで、堅実な精神と確固たる原則を身につけた。……神への忠誠、目に見えない神への信仰が、ヨセフの錨であつた。」（教育 47-50）

ヨセフはどこへ召されても、逆境でも繁栄の中でも忠実でした。神は数々の大きな試練が彼に及ぶことをお許しになりました。そして道は険しく長くとも、ヨセフは最後まで忠実でした。彼の生涯の研究を通して、わたしたちはどのようにして自分たちも勝利者となれるかを理解することができます。ヨセフはとくに逆境に耐えた方法においてキリストの型でした。

ヨセフはその忠実さが報われました。彼はエジプトの総理大臣に選ばれました。彼の死後、彼はまた 12 部族の中で二つ分の嗣業が与えられました（エゼキエル 47:13）。12 部族はとくにヨハネが 14 万 4 千人を描写した時に述べられています。この贖われた人々の一団は、イスラエルの 12 部族によって表され、ヨセフと彼の息子のうちの一人が含まれています（黙示録 7:4-8）。

「ヨセフ……の歴史は、神に献身し、全心全霊をもって神の御目的を成就しようと努力する人々に対して、神がどのようなことをなさるかということの生きた例である。……

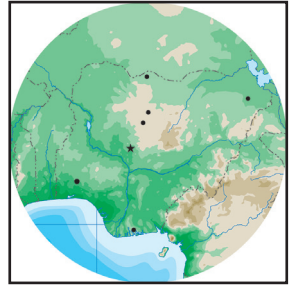
しかし、こういう品性は偶然にでき上がるものではない。それはまた神の特別な恩恵や天分によるものでもない。高潔な品性は自己修練の結果である。それは肉欲を精神に従わせること、すなわち、神と人々に対する愛の奉仕のために自我を克服することによって達せられるのである。」（教育 54）

世界総会安息日学校支部

第一安息日学校献金

ナイジェリアの教会のために

ナイジェリアは広大な国で、アフリカの中央西よりに位置しています。北はニジェール、西はベナン、東はチャドとカメルーン、南は大西洋に面しています。1億7400万ほどの人口がおり、アフリカの中で最も人口が多く、世界でも第七番目に人口の多い国となっています。最近、アフリカ大陸で最大の経済力を持つていると認められました。公用語は英語ですが、数多くの地元の言語が使われています。



主要な宗教は、イスラム教 (50.4%) とキリスト教 (48.2%) です。キリスト教の中では、24.8%がカトリックで、74.1%がプロテスタントです。

改革のメッセージがナイジェリアに届いたのは、数十年前ですが、イスラム教とキリスト教の間の戦いが、わたしたちの働きを成長を阻んできました。神の恵みによって、わたしたちの兄弟姉妹は、伝道の熱意とキリストへの愛に動かされて、このメッセージを30人の魂に広めました。

ナイジェリアには二つのミッションがあります。一つはナイジェリア中央ミッションで、もう一つはナイジェリア東ミッションです。中央ミッションにいる信徒たちは、大変な伝道努力を払い、その結果、新しい求道者が彼らに加わりました。しかしながら、彼らの礼拝の場所は今や個人の家からわたしたちの教会を代表するようなところへ移る必要があります。

アメリカ合衆国からの兄弟が、惜しみなくほぼ5エーカーの土地を寄付しました。しかしながら、まだ礼拝場所の建設のためには資金が足りません。そこで、世界中の兄弟姉妹の皆さんに、この建設事業を援助するための惜しみない献金をお願いいたします。

「主は、ご自分の民が外国の伝道地のために表す伝道熱心のすべての面に注目しておられる。このお方は、すべての家庭で、すべての教会で、またあらゆる働きの中で、外国の伝道地に援助を送ることによって惜しみない精神が表されることを意図しておられる。そこでは、働き人たちが闇に座る人々に光を与えるために大変に不利な状況で戦っているのである。」(福音宣伝者 465)

主がナイジェリアの兄弟姉妹のためのこの訴えに、直接的にあるいは間接的に応えるすべての人を祝福してくださるようにお祈りします。

アフリカ地域書記

ヨセフ—夢見る者

「すべての訓練は、当座は、喜ばしいものとは思われず、むしろ悲しいものと思われる。しかし後になれば、それによって鍛えられる者に、平安な義の実を結ばせるようになる。」(ヘブル 12:11)

「信仰、忍耐、寛容、天に向けられた思い、あなたの賢明な天父を信じる信頼は、雲と失望と死別のただ中で成長する完全な花である。」(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 7 巻 934)

推奨文献：セレクトッド・メッセージ 2 巻 96-100

日曜日

12月28日

1. ヨセフの最初の夢

- a. ヨセフとはだれでしたか。また彼は何について夢を見ましたか(創世記 30:22-24; 37:1-7)。

「[ヤコブの息子の中の] 一人……ラケルの長男ヨセフは、著しく異なった品性の持ち主であった。彼のまれに見る容貌の美は、彼の精神と心の内面的美の反映であった。ヨセフが純粹で、活動的で、歓喜にあふれていたことは、道徳的真剣さと堅固さをあらわしていた。彼は、父親の教えに耳を傾け、神に従うことを愛した。」(闘争と勇氣 72)

「神の御使は自分の兄弟たちに無邪気に語った夢の中で、ヨセフに教えを与えていた。」(靈的賜物 3 巻 138)

- b. ヨセフの兄弟たちは自分たちにかかわる彼の夢の意味をどのように理解しましたか(創世記 37:8)。

「ヨセフは、彼らがみな穀物の束を結わえているときに、彼の束がまっすぐに立って、残りのすべての束がその周りに立ち、彼の束の前でおがんだ夢を見た。彼が自分の夢を語ったとたんに、彼らはみなその意味を理解した。彼の兄弟たちは憤って叫んだ、『あなたはほんとうにわたしたちの王になるのか。あなたは実際わたしたちを治めるのか。』」(サイン・オブ・タイムズ 1879 年 12 月 18 日)

2. ヨセフの第二の夢

a. 初めの夢は、二番目の夢とどのように異なりましたか (創世記 37:9)。

「まもなく主はヨセフに同じ重要性をもちながら、さらに顕著な意味をもった夢をお与えになった。この夢についても、彼は父や兄弟たちに語った。」(サイン・オブ・タイムズ 1879 年 12 月 18 日)

b. ヨセフの父親は、彼の夢にどのように反応しましたか (創世記 37:10)。

「やがて彼は、また同じような意味の夢をもう一つみて、それを語った。『日と月と十一の星とがわたしを拝みました』(創世記 37:9)。この夢は、最初のものと同様にその意味がすぐわかった。そこにいた父は、彼をとがめて言った。『あなたが見たその夢はどういうのか。ほんとうにわたしとあなたの母と、兄弟たちとが行って地に伏し、あなたを拝むのか』(同 37:10)。」(人類のあけぼの上巻 230)

c. 夢に対するヤコブの反応と、ヨセフの兄弟たちの反応は、どのように異なりましたか (創世記 37:11)。

「ヤコブは一見自分の息子の夢に関して無関心であるように見えた。しかし、彼自身、しばしば主から夢の中で教えを受けてきたために、主が同じようにヨセフにお教えになったことを信じた。彼は自分の真の気持ちが妬みぶかい彼の兄弟たちに知られないようにヨセフを咎めた。」(霊的賜物 3 巻 139)

「彼の言葉はきびしい譴責であったけれども、ヤコブは、主がヨセフに将来のことをあらわしておられるのを信じた。

ヨセフが兄弟たちの前に立ったとき、彼のりっぱな顔は、聖霊の啓示の光に輝いていたので、彼らは称賛せずにはおれなかった。しかし、彼らは、自分たちの悪行を捨てようとはせず、自分たちの罪を責める彼の純潔さを憎んだ。」(人類のあけぼの上巻 230)

「主はご自身の考えられたことに従って、ご自身の方法で働いておられた。人は自己を捨てて、天と調和することができるように祈ろうではないか。」(レビュー・アンド・ペナルド 1896 年 5 月 5 日)

3. 時がすべてを明らかにする

- a. 多くの年月の後、どのように、ヨセフは最終的に麦の束についての初めの夢が成就したのを認識するようになりましたか（創世記 42:6-9）。

「〔飢饉の間に、ヤコブの息子たちは〕王の役人のところに行く指示を受けた。そして、買いに來た他の人々とともにエジプト全国のかさの前にすすんだ。『ヨセフの兄弟たちはきて、地にひれ伏し、彼を拝した』『ヨセフは、兄弟たちであるのを知っていたが、彼らはヨセフとは知らなかった』（創世記 42:6, 8）。彼のヘブルの名は、王に与えられた名前に変えられていたし、このエジプトのかさと、彼らがイシマエルびとに売った若者とはまったく似かよう点はなかった。ヨセフは、兄弟たちが腰をかがめておじぎしているのを見て、かつて彼がみた夢を思い出し、昔の光景がはっきりとよみがえってきた。」（人類のあけぼの上巻 248）

- b. 初めの夢が成就する前に、何年が経過していましたか（創世記 37:2; 41:46, 53, 54; 42:6; 45:6）。
- c. 幻が成就する前に、なぜ神はそれほど長い年月が過ぎ去るのをお許しになったのですか（ペテロ第二 3:8, 9; 創世記 37:4, 11 と創世記 45:15 を比較のこと）

「一度も試練の立場におかれたことのない多くの人々は、一見すばらしいクリスチャンのようであり、その生活は非の打ち所がないように見える。しかし、神は彼らがそれらに気づき、正すことができる前に、彼らに明らかにしなければならぬ品性の特徴があることをご覧になる。……神のみ摂理のうちに、わたしたちは多様な状況下で品性を発達させることを意図した様々な立場に置かれ、思いの資質を働かせるよう要求される。……クリスチャンだと公言する人々は外見に関する限り非の打ち所なく生活を送っているかもしれない。しかし、状況が変わって、まったく違う立場に放り込まれると、もし状況が同じであれば隠れたままになっていたはずの品性の強い特徴が見つかるのである。」（教会への証 4 巻 55, 56）

「神は、彼に高い地位を占める準備をさせるために、〔ヨセフが〕誘惑と逆境と困難によって経験を得るよう意図された。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 1 巻 1097）

4. テストの瞬間

- a. わたしたちが望む以上に長引く、しかるべき経験を神が許される他の理由をいくつか話し合いなさい（詩篇 26:2; ヘブル 12:11; ヤコブ 5:7-11; 黙示録 14:12（上句））。

「神のみことばを受け入れる者には、困難や試練がないというわけではない。しかし、苦難に臨んでも、真のクリスチャンは、動揺したり、疑惑をいだいたり、失望したりはしないのである。たとえ、事態がどのように発展するかをはっきりと見ることができず、神の摂理の目的を悟ることができないとしても、確信を投げすててはならない。そのようなときには、主の情深いあわれみを思い起こして、わたしたちの思いわずらいを主にゆだね、忍耐して、主の救いを待たなければならない。戦いを経ることによって、霊的命は強められるのである。試練に耐えることによって、品性は堅固になり、霊の結ぶ美しい徳が養われる。信仰、柔和、愛といった美しい完全な実、暴風と暗黒の中で最もよく成熟するものなのである。」（キリストの実物教訓 38, 39）

- b. 長引く試練の間、わたしたちの信仰にとって最大の挑戦は何ですか（ヘブル 10:35-39; 詩篇 27:14）。

「状況が変わり、失望が訪れるがゆえに、すなわちあなたが働きを築き上げるために望むほどの援助を受けられないがゆえに、そのために意気消沈してはならない。すべての思いわずらいを贖い主の足元に置き、『求めよ、そうすれば与えられる』（ヨハネ 16:24）。

あなたの最善を尽くし、それから忍耐強く、希望をもって、喜んで待ちなさい。なぜなら、神の約束は失望させることがないからである。キリストの倦むことのない努力の生涯は、わたしたちの励ましのために記録されている。このお方はくじけることも、失望なさることもなかった。試練の時に、忍耐強くありなさい。忍耐は尊い宝石である。それは心身に健康をもたらす。あなたが求める祝福を受け、感謝する準備ができたことを主がご覧になるまで、主を待ち望みなさい。試練が厳しくても、信仰を働かせなさい。『信仰とは、望んでいる事がらを確認し、まだ見ていない事実を確認することである。』（ヘブル 11:1）。信仰から希望が生まれる。

失望を柔和に受け入れることには、自制が要求される。しかし、イエスはあなたの必要を理解してください。真心と信仰のうちにこのお方へ捧げられる一つひとつの祈りは答えられる。一見乗り越えられない困難に囲まれたとき、そのときこそ、他のすべての時にまさって主に信頼すべき時である。」（レブ・アンド・ハルド 1912 年 5 月 30 日）

5. 神聖な啓示

- a. 自分の兄弟たちの先の拒絶にもかかわらず、最終的にヨセフはどのようにしてこれらの特別な夢が、神聖な啓示であると信じましたか（創世記 40:8; 41:15, 16）。

「ヨセフは栄光を自分のものとしなかった。彼はパロに『神がパロに平安をお告げになりましょう』と言って、神を指し示した（創世記 41:16）。

神が彼にお授けになった知恵を通して、ヨセフは夢の真の意味を理解することができた。彼は神のすばらしい働きを見て、全容をはっきりとパロの前に明らかにした。」（ユース・インストラクター 1897 年 3 月 11 日）

「ヨセフのパロへの答えの中に、彼のけんそんと、神への信仰があらわされている。彼は、つつしみ深く、すぐれた知恵が自分にあるなどとは言わなかった。『いいえ、わたしではありません』。神だけがこれらの秘密を解き明かすことができるのである。」（人類のあけぼの上巻 242）

- b. 終わりの時代に、しかるべき夢や幻をお与えになる神のご目的は何ですか（ヨエル 2:28-31; 使徒行伝 10:9-28）。

「愛する読者方。わたしは、あなたがたの信仰と行為の基準として、神のみ言葉を推薦する。われわれは、その言葉によって裁かれる。神はその言葉の中で、『終わりの時に』幻を与えると約束された。それは信仰の新しい基準としてではなくて、神の民の慰めと、聖書の真理を離れて誤りに陥る人々を正すためである。神は、ペテロを異邦人の伝道に遣わすに当たって、このようなあしらいをなされたのである。」（初代文集 160, 161）

個人的復習問題

1. なぜわたしたちは夢を見た人をあざ笑うことがないように、気をつけるべきなのですか。
2. なぜ人の性質は権威ある他の人に頭をたれることが好きではないのか、説明しなさい。
3. クリスマン生涯における試練の目的は何ですか。
4. 試練は、わたしたちの信仰のどの特徴が発達する助けとなりますか。
5. 将来わたしたちは夢や幻がもっと増えることを期待すべきですか。

ヨセフのための神のご計画

「恐れおののいて自分の救の達成に努めなさい。あなたがたのうちに働きかけて、その願いを起させ、かつ実現に至らせるのは神であって、それは神のよしとされるところだからである。」(ピリピ 2:12, 13)

「人の道ではなく、神の道が行動の指針として受け入れられるべきである。このお方には、良く賢明に整えられたご計画がある。このお方はこのご計画をご自分のみ言葉のうちにわたしたちに明らかにしてくださる。そしてこのお方はわたしたちがそれを大きいことにも小さいことにも万事につけて、自分たちの指針として受け入れることを期待しておられる。人は自分の有限な判断力に従って計画を立てるべきではない。彼は神のご計画を探り、見出すべきなのである。」(原稿別紙 18 巻 270, 271)

推奨文献：サインズ・オブ・タイムズ 1879 年 12 月 18 日

日曜日

1月4日

1. ヨセフの最初の一人旅

- a. ヨセフが自分の兄弟たちを探すために一人で出て行ったことは、なぜ意味深かったのですか(創世記 37:12-14)。

「[ヤコブ] は、ヨセフを[彼の兄弟たち] のところへつかわし、彼らが安全かどうかを行って見てこさせることにした。もしヤコブが、兄弟たちのヨセフに対する本当の気持ちを知っていたならば、ヨセフをひとりで彼らのところへは送らなかったであろう。しかし兄弟たちは注意深くヨセフに対する感情を表に出さなかった。ヨセフは喜んで父から離れていった。しかし、年とった父も、この若者も、ふたりがもう一度会うまでの間にどんなことが起こるのかを夢想だにしなかった。」(人類のあけぼの上巻 230, 231)

- b. ヨセフにとって、自分の兄弟たちがどのあたりにいるかを教えてくれた人に出会ったことは、なぜ重要不可欠だったのですか(創世記 37:15-17, 28)。

「兄弟たちがいるだろうと父親が思った場所にヨセフが着いたとき、彼らは見当たらなかった。彼が兄たちを探して野から野へと進んでいったときに、見知らぬ人が彼の用向きを知って、彼らがドタンへ行ったことを告げた。彼はすでに 50 マイル旅をしてきていたが、さらに 15 マイルの距離が先にあった。これは若者にとって長い旅であったが、彼は快活に果たした。」(サインズ・オブ・タイムズ 1879 年 12 月 18 日)

2. 兄弟たちのたくらみ

- a. ヨセフが来るのを見たとき、兄弟たちの思いに最初に浮かんだことは何でしたか。それはなぜでしたか（創世記 37:18-20）。

「ついに〔ヨセフ〕は遠くから自分の兄弟たちを求めて、彼らにあいさつをするために急いだ。彼らもまた彼が来るのを見た。明るい色の着物によって、彼を容易に認めることができた。しかし、彼らがそれを見たとき、彼らのねたみ、嫉妬、憎しみの感情が呼び覚まされた。彼らは彼が自分たちに会いに来るために長い徒歩の旅をしてきたことを考えなかった。彼らはヨセフの疲れや飢え、また兄弟として当然彼らのもてなしや優しい思いやりや兄弟愛を受ける権利があることを考えなかった。遠くから彼を目立たせていた着物を見ると、彼らは悪魔的な怒りに満たされた。」（サィズ・オブ・タイムズ 1879 年 12 月 18 日）

- b. 悪魔はどのようにして、ご自分の民を救うためにヨセフを用いるという神のご計画を挫折させようとしたか（創世記 15:12-14; 37:20; エペソ 6:11, 12）。長期的に見れば、もし彼らがヨセフに対する自分たちの計画を成功させたとすれば、実はだれを殺すことになったはずですか（創世記 42:1, 2）。

- c. ヨセフのための神のご計画を台無しにしようと努力して、悪魔はどの最大の計画を挫折させようとしたか（創世記 3:15; 22:16-18; ガラテヤ 3:16）。

「アベルの殺害は、神が、へびと女のすえとの間、サタンおよびサタンの配下と、キリストおよびキリストの従者たちとの間に存在するといわれた敵意の最初の例であった。」（人類のあけぼの上巻 71）

「〔彼らが金の像の前に崇拝のうちに頭を垂れているのをモーセが見たとき、シナイで〕サタンはエホバに対するこの大胆な侮辱と冒涇に、イスラエルを誘い込むことによって、彼らの滅亡を招こうと計画していた。彼らがこれほどにも墮落し、神から与えられた特権と祝福の目ざめと、そして、自分たちがくり返し厳粛に誓った忠誠を全く忘れてしまったのであるから、主は彼らを捨て去って、滅ぼしてしまわれるだろうとサタンは考えた。こうして、生きた神の知識を保存する約束のすえ、アブラハムのすえは滅ぼされてしまい、サタンを征服することになっていた真のすえであられるかたが来ないように彼は願ったのである。大反逆者はイスラエルを滅亡させ、それによって神のみ旨の遂行を妨げようと考えていた。」（同上 394）

3. 魂のための戦い

- a. 神の御霊は、ヨセフを死から救うために、だれの心を動かししましたか。またなぜ、神はこの兄弟を特別にお選びになったのですか（創世記 37:19-22; 29:31, 32）。

「もしルベンがいなかったら、彼らはその計略を実行していたことであろう。ルベンは兄弟を殺害することに加わるができなかった。そして、ヨセフを生きたまま穴に投げ入れて、そのままほうっておいて死ぬにまかせようと言った。」（人類のあけぼの上巻 231）

「〔ルベンは〕罪がずっと彼らにとどまるようになり、その犯罪のために神ののろいが彼らに臨むようになるという明白な論拠を示して、ヨセフのために嘆願した。」（サインズ・オブ・タイムズ 1879 年 12 月 18 日）

- b. この時点において、ヨセフのための神のご計画は何でしたか（詩篇 105:16, 17）。ルベンの計画は何でしたか（創世記 37:22（下句））。

「〔ルベンは〕彼を生きたまま穴に入れて、そこで死ぬままにほうっておこうと提案した。というのは、こっそり彼を連れ出して、父のもとへ返そうと思ったからであった。」（サインズ・オブ・タイムズ 1879 年 12 月 18 日）

- c. そこで神はご自分のご計画を実行するために、他のどの兄弟に対して働かれなければなりませんでしたか。また、なぜ神はそのときにたしかにルベンが迎りにいないようにされなければなりませんでしたか（創世記 37:25-30）。

「ルベンは、その計画に一同の同意を得たあとで、自分の感情をおさえきれなくなった。そして自分の真の目的が何であるかを発見されるのを恐れて仲間を離れていった。……

ユダは、兄弟を穴の中においたまま死なせるよりは、異邦の商人に売ろうと言いつ出した。そうすれば、彼を都合よく追放することができて、殺さないですむ。『彼はわれわれの兄弟、われわれの肉身だから、彼に手を下してはならない』と言った（創世記 37:27）。……

ルベンが穴にもどってみると、ヨセフはいなかった。ルベンは驚きと自責の念にさいなまれて、自分の着物を裂き、兄弟たちのところに来て、『あの子はいない。ああ、わたしはどこへ行くことができよう』と叫んだ（創世記 37: 30）。ルベンは、ヨセフの運命を聞いてもう彼を取りもどすことができなことを知り、彼らと一つになってその罪をかくすようになってしまった。」（人類のあけぼの上巻 231-233）

4. わたしたちを守る者

- a. ヨセフは自分の地上の父親の保護から外れましたが、なお、だれが彼と共にいましたか(創世記 39:2; 詩篇 103:13)。

「ヨセフの兄弟たちは、ヨセフの奇妙な夢の成就を防ぐ確かな手段を取ったとうめばれた。しかし、主はできごとを支配しておられ、ヨセフの兄弟たちの残酷な行動が、彼らの防ごうと労した夢を成就するようににされたのであった。ヨセフは自分の父親から引き離されて非常に苦しんだ。そして彼の最もつらい悲しみは、自分の父親の悲嘆を考えた時であった。しかし、神はヨセフを一人でエジプトへは行かせなかった。御使たちが、彼の受け入れの道を準備した。」(預言の霊 1 巻 130, 131)

- b. 全人類に及ぶ神の支配と司法権について、わたしたちはいつも何を心に留めてい必要がありますか(ヨブ 2:3-6; 詩篇 56:11)。

「ヨセフとダニエルの歴史を研究しなさい。主は彼らを害そうとする人々のたくらみを阻止されなかったが、これらのすべてのたくらみを、ご自分の僕たちの益となるよう働いてくださった。彼らは試練と争闘の中で自分たちの信仰と忠誠を守る人々であった。」(福音宣伝者 477)

- c. キリストを信じる信徒は、自分に対する神の保護について、どのような保証を得ることができますか(ヨハネ 10:27-29; ペテロ第一 5:6, 7)。

「キリストは人に仰せになる、あなたはわたしのものだ。わたしはあなたを買った。あなたは今は粗い石にすぎない。しかし、もし自らをわが手のうちに置くならば、わたしはあなたを磨こう。そしてあなたが輝くその光明は、わが名に誉れをもたらすであろう。だれもあなたをわが手からうばい去る者はない。わたしはあなたをわたしの特別な宝とする。わたしの戴冠式には、あなたはわが喜びの冠の宝石となるであろう。」(天国で 267)

「人の現在と永遠の安全は、その保証、義なるイエス・キリストであられる。だれもこのお方のみ手から信じる魂をうばい取ることはできない。……心のうちに神の愛を保つことによって、世の愛は締め出されている。そしてわたしたちは最もきよい信仰のうちに築き上げるのである。」(ユース・インストラクター 1898 年 2 月 17 日)

5. 神と共に協力する

- a. ヨセフのように神に信頼をおく人々には、何が約束されていますか（詩篇 37:4, 5; 箴言 3:5, 6）。

「神の御前に、断食をもってすべての計画を広げ、そして主イエスのみ前に魂のへりくだりをもって自分の道を主にゆだねなさい。確かな約束は、このお方が道を教えるということである。このお方は資源において限りがない。天の万軍をその名で呼び、天の星をその位置に保っておられるイスラエルの聖者は、あなたを個人的にご自分の守りのうちにおいておられるのである。……

わたしは何がキリストを自分の充足また信頼とするすべての人のための可能性と見込みであるかを、すべての人が悟ることができればと願う。神のうちにキリストと共に隠された命にはいつも避け所がある。彼は『わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができる』と言うことができる（ペリピ 4:13）。」（田舎の生活 28）

- b. クリスマスの旅路において、わたしたちは何を、またどのように達成しなければなりません（ペリピ 2:12, 13）。

「だれも自分で自分自身の救いを達成することはできない。そして神は人の協力がなければその人のためにこの働きをなすことがおできにならない。しかし、人が真剣に働くとき、神はその人と共に働いてくださり、彼に神の子となる力を与えてくださる。」（教会への証 6 巻 372）

「神と人が協力しなければならない。すべての人は、神が内に働いてくださることを、外に働かなければならない。」（イエスのようになるために 120）

「恐れおののいて自分自身の救いの達成につとめることは、わたしたちにとってすべてを意味する。神はわたしたちのうちに働きかけて、ご自分の良しとされる願いを起こさせ、かつ実現に至らせてくださる。もしわたしたちがこのお方に働いていたくなら、このお方は働いてくださる。上なる天におけるわたしたちの報いは、下にあるこの地上での自分の日々の歩みと会話にかかっている。わたしたちはここでクリスマスになることができる。そして、クリスマスになるために、わたしたちは自分自身の方法でできないからといって落胆や嘆きのうちに生きる必要はない。もしわたしたちが本当にクリスマスならば、栄光の望みであられるキリストがうちに形づくられるのである。」（上を仰いで 204）

個人的復習問題

1. なぜ小さく見える決心が人生を変えるものになりえるかを説明しなさい。
2. クリスマスとはどのような種類の戦いにかかわっていますか。
3. 神の御旨が成るように、神の御霊はどのようにわたしたちに感化を及ぼすことができますか。
4. わたしたちはなぜ人がわたしたちにできることを恐れるべきではないのですか。
5. わたしたちの救いのために働くのは神ですか、人類ですか。

ヤコブの感化力

「父たる者よ。子供をおこらせないで、主の薰陶と訓戒とによって、彼らを育てなさい。」(エペソ 6:4)

「品性を形造る上に、家庭の影響ほど大きな影響を及ぼすものは他にない。」(教育 333)

推奨文献：家庭の教育 1-10

日曜日

1月11日

1. ヤコブの親としての過ち

- a. ヤコブは自分の子供たちを育てるにあたり、どこで間違いを犯しましたか(創世記 37:2, 3)。

「親は偏愛を示さず、すべての子供がキリストの血で買われたものであることを覚えて、優しさをもって扱うべきである。子供たちは自分の親を模倣する。であるから、彼らに正しい模範を与えるために大変な注意を払うべきである。」(教会への証 5 巻 319)

- b. この過ちは他の兄弟たちにどのような影響を及ぼしましたか(創世記 37:4)。

「〔ヨセフの〕母親がなくなっていたために、彼は、父親に強い愛着をおぼえた。そして、ヤコブの心は、年をとってから生まれたこの子と強く結ばれていた。彼は『他のどの子よりも』ヨセフを愛した(創世記 37:3)。

しかし、この愛情さえ、悩みと悲しみの原因になった。不覚にも、ヤコブはヨセフに対する偏愛を表面にあらわして、他のむすこたちのねたみを起こさせた。」(人類のあけぼの上巻 228, 229)

「父親と母親は自分の子供たちの品性を、注意深く祈りをもって研究すべきである。彼らは目立ちすぎる特質を制止し、抑制するように、また他の不十分な特質は促進するように努めることによって、調和の取れた発達を確保すべきである。……均衡の取れていない精神や性急な気質、いらだち、ねたみ、あるいは嫉妬は、親の怠慢の証拠である。品性のこれらの悪い特質はそれを持つ者に大変な不幸をもたらす。」(クリスチャン教育の基礎 66, 67)

2. 原因から結果を

- a. どのように、ヤコブの妻たちは自分の子供たちのうちに悪い精神を助長しましたか(創世記 29:30-32; 30:1-8, 20)。

「ヤコブの罪は……自分の息子たちの品性と生活のうちに苦い実を表した。これらの息子たちが成人に達したとき、深刻な欠点があらわれた。一夫多妻の結果が家庭の中にあらわされた。この恐るべき悪は、愛の泉そのものを枯らす傾向があり、その感化力が最も聖なる絆を弱めるのであった。数人の母親の嫉妬は、家族関係を苦いものとし、子供たちは争い好きで統制に我慢できない者に成長し、父親の生涯は不安と悲しみに暗くなった。」(争闘と勇気 72)

「ヤコブが最も愛したのはラケルであった。しかし、〔ヤコブ〕が彼女を他のものより愛したことは、ねたみとそねみの原因となった。そして、彼の生涯は、姉妹のふたり妻の争いによって悲惨なものになった。」(人類のあけぼの上巻 205)

- b. 親があらわした悪い精神は子供たちの品性の発達にどのように影響を及ぼす可能性がありますか(エペソ 6:4; エゼキエル 16:44; ローマ 2:2)。わたしたちはどのようにして正しい模範を残すことができますか(コリント第一 9:27; ペテロ第一 2:21-23)。

「父親と母親は、自分の子供たちがどれほど自分たちを真似るかを悟るとき、一つ一つの言葉やしぐさを注意して見張ることであろう。」(SDA バイブル・コメント [E・G・柯什・コメント] 6 巻 1118)

「芸術家は自分のモデルの肖像を完全にキャンバスに写そうと、とても熱心に、また根気強く努力する。また彫刻家はわき目もふらずに石を削ったりのみを入れたりして、対象を写し取ろうとする。同じように親もキリスト・イエスのうちに与えられている型にならって、子供たちを形造り、磨き、精錬するために骨折らなければならない。忍耐強い芸術家が自分の労作の結果をより完全にするため、研究し、働き、計画をたてるように、親も子供たちが有用な人生をおくり、永遠のみ国にふさわしくなるように教育しなければならない。そしてそのために時間をむだなく使うように、よく考えるべきである。」(家庭の教育 515, 516)

「わたしはおこりたくなったり、自分で恥ずかしくなるような言葉を言いたい気持ちにかられると、だまってすぐへやを出て、これらの子供たちを教える忍耐をお与えくださいと、神に求める。それからわたしはへやにもどって子供たちと話し、もう二度とこのようなことをしてはならないことを、彼らに言うことができました。わたしたちはこの点では、子供をおこらせないような態度を取ることができる。わたしたちはどんなに自分たちがわがままであるか、また天のみ父にどのように扱っていただきたいと願っているかをいつも覚えて、親切に忍耐をもって語らなくてはならない。」(同上 263, 264)

3. 兄弟たちの欺瞞

a. 嘘をつく誘惑は、いつが最も強いですか (創世記 37:27-32; 3:11-13; 4:9, 10)。

「一つの罪が次の罪へ導くとはなんと真実なことであろう。この真理は、カインの場合になんと説得力のある実例を示していることであろう。彼は『弟アベルは、どこにいますか』との質問に驚いたように見える (創世記 4:9)。あまりにも罪に深入りし、あまりにも自らサタンの感化力に屈していたがために、彼は神のご臨在の感覚や、このお方の偉大さや知識についての感覚を失っていた。そこで、彼は自分の罪を覆うために主に嘘をついた。」(サインズ・オブ・タイムズ 1886 年 12 月 16 日)

「サタンは自分の目的を達成するために詐欺や詭弁を用いることができるが、神は偽ることがおできにならない。ルシファーは自分自身を隠すために、へびのように曲がって、くねって、すべる入り組んだ道を選ぶことができるが、神はまっすぐ前に進む直線にのみ動かれるのである。」(預言の霊 4 巻 319)

b. 兄弟たちの欺瞞的な策略は、彼らの上にどのような問題と心痛をもたらしましたか (創世記 37:34, 35; 42:36-38)。

『わたしたちはこれを見つけましたが、これはあなたの子の着物か、どうか見さだめてください』と〔ヨセフの兄弟たち〕は言った (創世記 37:32)。彼らは、この時の恐ろしさを予期してはいたが、父の心がはり裂けるばかりに苦しみ、悲しみの窮みに達して泣き叫ぶのを目撃しなければならないとは思っていなかった。『わが子の着物だ。悪い獣が彼を食ったのだ。確かにヨセフはかみ裂かれたのだ』とヤコブは言った (同 37:33)。むすこや娘たちがどんなに彼を慰めようとしてもむだであった。ヤコブは、『衣服を裂き、荒布を腰にまとい、長い間その子のために嘆いた』 (同 37:34)。時がたっても彼の悲しみは慰められなかった。『わたしは嘆きながら陰府に下って、わが子のもとへ行こう』と言って彼は嘆き悲しんだ (同 37:35)。むすこたちは、自分たちのしたことの恐ろしさを感じた。しかし彼らは父の譴責を恐れて、彼らの罪を心にかくしていた。それは自分たちにさえ、非常に大きな罪と思われたのである。」(人類のあけぼの上巻 233)

c. ヤコブがこのとき自分の子供たちの欺きによって苦しんでいる欺瞞的な行為は、なぜ彼自身の過去の誤ったやり方に関連があるのですか (創世記 27:8-38; ガラテヤ 6:7)。

「どの種でも、まいた種の実を刈り取る。人生においても同じである。」(キリストの実物教訓 64)

4. 罪の実

- a. ヤコブの息子たちがヨセフに対して抱いていた罪深い感情は何でしたか（創世記 37:3-5, 11, 23, 24）。

「ヤコブがヨセフにもっていた好意は隠すことができなかった。そして彼がヨセフに与えた豪華で色鮮やかな着物は、彼の息子たちにとって、偏愛のはっきりした証拠であった。彼らは、これを心の中に嫉妬や憎しみや復讐心をいだく十分な理由であると考えた。」（サイン・オブ・タイムズ 1879 年 12 月 18 日）

「神の律法は、魂に沸き起こりながら、意志ではなく機会がなかったために外の行動に現れなかった嫉妬、ねたみ、憎しみ、悪意、復讐心、欲、そして野心に注目する。」（思い、品性、そして個性 2 巻 526）

- b. あなたがこれらの罪深い感情を心に抱いているとき、それらはどこへ導くことができますか。また、だれがそこへわたしたちを導きますか（箴言 27:4; ヤコブ 1:13-15）。

「ねたみと嫉妬は、双子の姉妹のようにその働きにおいて交じりあう。ねたみは人が、だれかの持っている何かよいものを強く欲するように導き、自分がその立場にありたいと熱望している人の品性や評判をこきおろし、傷つけるために力の限りを尽くしてあらゆる手段を用いるよう駆り立てる。」（わたしたちの高い召し 234）

- c. これらの罪深い感情が心のうちに抱かれているとき、人は何をすることができますか（創世記 37:18-20; 箴言 6:34, 35; ヨハネ第一 3:11-15）。

「〔ヨセフの兄弟たち〕は、自分の父親のヨセフに対する強い愛情を観察し、彼をねたんだ。彼らのねたみは憎しみへと発達し、ついに殺人に至った。」（預言の霊 1 巻 127）

「ねたみは、誇りから生じる。もし心にねたみをいだけば、それは憎悪となり、ついには、ふくしゅう、殺人を犯させることになる。」（人類のあけぼの下巻 327）

「殺人はまず心のうちにある。心に憎しみがはいるのをゆるすとき、その人は殺人の道に足をふみ入れているのであって、彼の献げ物は神にきらわれる。」（各時代の希望中巻 18）

5. クリスチャンの家庭

- a. クリスチャン家庭での言葉について、いくつかの重要なガイドラインをあげなさい（エペソ 4:21-27, 31, 32; 黙示録 14:5）。

「どの家族も周囲から独立した神聖な関係がある。そしてこれは維持しなければならないものである。ほかのどんな人もこの神聖な関係に割り込む権利はない。妻は他人に言いながら夫にかくしておく秘密を持つてはならない。夫もまた、ほかの人に打ちあけておきながら妻にかくしておく秘密があつてはならない。」（アドベンチスト・ホーム 189）

「子供たちは、もし幼児期に、正しいやり方でしんぼう強く訓練されるのであれば、悪い習慣を身につけてしまう。こういう習慣は将来ますます発達して、ほかの人たちに害を及ぼすことになる。低俗な習慣を持つようになった人たち、家庭の悪い影響や悪い実例のために、安っぽい人間になってしまった人たちは、その悪い習慣を一生持ち続ける。たとえ彼らが信仰を持っていると公言しても、こういった習慣はその宗教生活に現れてくる。」（家庭の教育 203）

- b. わたしたちがヤコブとその子らの生涯に表された欺瞞の罪から警告を受けることが、なぜ重要なのですか（ヨハネ 8:44; ペテロ第一 2:1-3; 黙示録 21:27）。

「真理は神からのものである。種々様々の形態を装うあらゆる欺瞞はサタンからのものである。であるから、どんな方法においても、真理のまっすぐな道から離れるものは、悪魔の力に自分を売り渡しているのである。キリストの教えを受けた者は『実を結ばないやみのわざに加わらない』（エペソ 5:11）。」（国と指導者上巻 219）

「主はあらゆる欺瞞、秘密主義、偽りを憎まれる。これはサタンの働きである。神の働きは率直で公然としている。」（牧師への証 274）

個人的復習問題

1. わたしたちのすべての子供を平等に愛することは、なぜ重要不可欠なのですか。
2. 親は自分の子供を育てるときに、何を心に留めるべきですか。
3. いわゆる罪のない嘘と呼ばれるものであっても、嘘をつくことに安全はありますか。
4. わたしたちは、どのように心のうちで殺人を犯すことができますか。
5. どのように偽りと欺きはクリスチャン家庭を破壊することができますか。

エジプトへの道中

「彼らの前にひとりをつかわされた。すなわち売られて奴隷となったヨセフである。」
(詩篇 105:17)

「アブラハムがその滞在した土地で、ヨセフがエジプトで、ダニエルがバビロンの宮廷でそれぞれ果した役割を、ヘブル人は諸国民の中で果すのであった。彼らは人々に神をあらわすのであった。」(各時代の希望上巻 14)

推奨文献：預言の霊 1 巻 26-131

日曜日

1 月 18 日

1. 神のみ摂理は働いている

- a. ヨセフがエジプトに使わされる前に、神が整えられたみ摂理の行為を少なくとも七つ挙げなさい (詩篇 105:17; 創世記 37:13-28)。

「神の選ばれる道は、暗く見えるかもしれないが、最も確実に光へ至る道である。一見災害と敗北に見える中で、神のみ摂理はそのご目的を果たしている。」(サインズ・オブ・タイムズ 1883 年 7 月 26 日)

- b. ヤコブのすべての息子たちの中で、なぜ神は偉大な働きのためにエジプトに遣わすものとして、ヨセフをお選びになったのですか (創世記 37:2; 39:6; 使徒行伝 7:9)。

「ヨセフは自分の父親の教えを聞き、主を畏れた。彼は他のどの兄弟よりも父親の義の教えに従順であった。彼は父親の教えを蓄え、まっすぐな心をもって、神を愛し、従った。彼はある自分の兄弟たちの悪い行いを悲しんで、彼らに柔和に正しい道を行き、その悪い行いをやめるように懇願した。これは彼に対する敵意を増すだけであった。罪に対する彼の憎しみが大きかったために、彼は自分の兄弟たちが神に対して罪を犯すのをみるに忍びなかった。彼は問題を自分の父親に打ち明け、その権威をもって彼らを改革してくれることを願った。」(預言の霊 1 巻 126)

2. 孤独な旅

- a. 奴隷としてエジプトへ旅する道中、ヨセフは自分の生涯における神のお導きをどのように感じることもできたはずですか（創世記 37:28; 詩篇 88:3-5; 73:13, 14）。

「隊商がカナンの国境に向かって南下したとき、ヨセフは遠方に父の天幕が張ってある山を見ることができた。彼は愛する父親のさびしさと苦しさを察して激しく泣いた。……彼は将来のことを考えて恐れおののいた。」（人類のあけぼの上巻 234）

- b. わたしたちはいつ、神のお導きを疑うよう最も誘惑されますか（ヨブ 2:7-10; 出エジプト記 16:2, 3; 17:1-3）。

「真心から神の働きに献身する多くの人が、従来に見ないほど妨害をうけ、試練や困難に襲われて驚き、失望する。主の働きにふさわしい者となるために彼らはキリストのような品性を求めて祈っているが、自分の持っている悪い性質しか引き出せないような事情におかれている。そして、持っているとは思わなかった短所があらわれ、昔のイスラエルびとのように『神が導いておられるなら、どうしてこんなことがわたしたちに起るのだろう』と尋ねる。」（ミストリー・オブ・ヒーリング 454）

- c. なぜ神はヨセフに孤独な時間が訪れることをお許しになったのですか（ペテロ第一 4:12, 13; ヘブル 12:5, 6; ローマ 8:28）。

「たいせつに扱われたむすこから、いやしい無力な奴隷になるとはなんという変わりようであろう。……

しかし、神の摂理のうちに、このような経験さえも祝福になるのであった。ヨセフはわずかの時間のうちに、数年かかっても得られない教訓を学んだ。彼の父は、強くやさしい愛の人であったが、彼を特別に愛してあまやかしたことは彼のためにならなかった。この愚かな偏愛は兄弟たちを怒らせ、彼らに残虐行為を行なわせ、ヨセフを家庭から引き離す原因になった。その影響は、彼自身の性格にもあらわれていた。彼は、これまでに助長された欠点を改める必要があった。彼はうぬぼれの強い苛酷な人間になりつつあった。彼は、父親のやさしい保護になれていたので、前途の困難と、異国人また奴隷としてのきびしい、だれの保護もない生活になんの準備もないことを感じた。」（人類のあけぼの上巻 234, 235）

3. 幼年から成人へ

- a. 自分の子供たちを育てる際に、神を畏れる親は、どの約束をつかむことができますか（箴言 22:6）。

「〔奴隷として売られる時に、ヨセフ〕は、父の神のことを考えた。彼は幼いときから、神を愛し恐れることを教えられていた。彼は父の天幕の中で、ヤコブが逃亡者となって家を脱出したときに見た幻の話をよく聞いたものであった。彼はヤコブに与えられた主の約束とそれが成就した方法、すなわち、父が最も必要に迫られたときに、神の天使が現われて彼を教え、慰め、保護したことを教えられていた。また、彼は、人間のために贖い主を与えられた神の愛について学んでいた。彼は今、こうした尊い教訓をまざまざと思い出した。」（人類のあけぼの上巻 235）

- b. 彼のさびしい国外追放の間、ヨセフはだれのことだけを呼び求めることができましたか。この決心は彼の生涯をどのようにに変えることになりましたか（詩篇 27:10; 34:18, 19; ローマ 10:13）。

「〔ヨセフ〕の魂はどのような環境のもとにあっても、天の王の臣民らしく行動し、神に忠誠を尽くそうと決心して大きな感動をおぼえた。彼は、専心、主に仕えようと思った。彼は勇敢に試練に当面し、忠実に義務を果たそうとした。この一日の経験が、ヨセフの生涯の分岐点になった。その恐ろしい不幸が、あまやかされた少年から、思慮深く、勇敢で沈着なおとなに彼を変えたのである。」（同上 235）

- c. わたしたちが捨てられ、すべてのものを失ったと感じるよう誘惑されるとき、何を思い出すべきですか（詩篇 37:25; 33:18, 22; 73:25, 26; ヘブル 12:1-3）。

「すべての苦難において、神はわたしたちの益のために実現するご目的を持っておられる。偶像を砕く一つ一つの打撃、わたしたちの地をつかむ手を弱め、またわたしたちの愛情をもっと固く神に結びつける一つ一つのみ摂理は、祝福である。剪定は一時痛みを伴うかもしれないが、後になって『平安な義の実を結ばせる』（ヘブル 12:11）。……わたしたちの信仰に最も厳しくのしかかり、あたかも神がわたしたちをお捨てになったかのように見せる試練そのものが、わたしたちをもっとはつきり神へ導くのである。……クリスチャンはだれも、自分に試練の時が訪れても、捨てられたと感じることがないようにしよう。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1894 年 4 月 10 日）

4. 勝利する信仰

- a. 若かったにもかかわらず、ヨセフは自分が直面した状況に対する勝利をどのように獲得しましたか（創世記 39:1, 2; 詩篇 40:1-4）。

「神はその大いなる憐れみのうちに、ご自分の信じる民に、ご自分の働きと奉仕のための能力と力をお与えになる。それはちょうどヨセフ、サムエル、ダニエル、テモテ、またその他、神の約束を自らのものとした多くの人々にお与えになったのと同様である。彼らはこのお方を信じ、このお方により頼んだ。そして、これが彼らの義であった。男女は信仰によって動かなければならない。彼らは、サタンが彼らの進歩を妨げるために持ち込んだ反対の雲を通して自分の道を進まなければならない。彼らが神を自分の助けまた能力として信頼するのを、神がご覧になるとき、彼らは人の献身のなさという大変な闇の中を安全に過ぎることができるのである。」（上を仰いで 206）

- b. 状況が自分の信仰を乗り通らせるのを許す人々について、聖書は何と述べていますか（民数記 13:32, 33; ヘブル 3:17-19; ヤコブ 1:8）。

「生けるキリストは自己否定と強い信仰を要求なさる。状況が生活を支配するようであってはならない。神の子ら、天の相続者は、あちらこちらと漂流するわけにはいかない。」（レビュー・アクト・ヘラルド 1897 年 11 月 9 日）

- c. もし自分の試練に勝利するなら、どの約束が与えられていますか。またどのようにして勝利することができますか（民数記 14:24; ヨハネ第一 5:4; 黙示録 3:21）。

「今は、だれが真のカレブであるか、だれが城壁は高く巨人は強いという事実を否定はしないが、その事実そのものが勝利をさらに栄光に満ちたものとすることを信じる人かを示すべき時である。わたしたちの前には大きな困難と試練がある。前進するためには、強い勇気と辛抱強い努力が要求される。しかし、すべてのことは、これまで安全にわたしたちを導いて下さった指導者を信じるわたしたちの信仰にかかっている。今、不信仰が入り込むのを許すのであろうか。不信頼と恐れに弱々しく屈してしまうのであろうか。世と妥協し、天のカナンから引き返すのであろうか。」（同上 1881 年 11 月 29 日）

「臆病者と不平者は荒野で滅びたが、忠実なカレブは約束のカナンに自分の家を持った。『わたしを尊ぶ者をわたしは尊ぶ』と主は言われる。」（教会への証 5 卷 304）

5. すべての神のご計画に

- a. ヨセフがエジプトに到着したときに、なぜポテパルに会うことが重要だったのですか（創世記 39:1, 2）。神はこの出会いを、ヨセフのためのご自分の計画を進めるためにどのようにお使いになりましたか（創世記 37:36; 39:20; 41:9-14）。

「ヨセフはエジプトに売られることを、自分に降りかかり得る最大の災難だと思った。しかし、彼は自分の父親の愛によって守られていたときにはなかったほど、神に信頼する必要があることを知った。ヨセフはエジプトへ自分と共に神をお連れした。そしてその事実は悲しみのただ中で快活な態度に表れていた。神の契約の箱がイスラエルに休息と繁栄をもたらしたように、この神を愛し、神を畏れる青年は、祝福をエジプトへ携えていった。」（SDA バイブル・コメンタリ [E・G・ホワイト・コメント] I 巻 1096）

- b. なぜ、神のご計画は必ずしもわたしたちの個人的な願いを反映していないのですか（箴言 16:9; イザヤ 55:8, 9; ローマ 8:26）。

「すべての真心からの祈りには答えがもたらされる。それはあなたが願う通りに、あるいは待っている時には来ないかもしれないが、あなたの必要に最もよく応じる方法と時に訪れるのである。あなたが孤独のうちに、弱っている時に、試練の際に捧げる祈りに、神はいつもあなたの期待通りではないが、必ずあなたの益のためにお答えになるのである。」（福音宣伝者 258）

「わたしたちはみな、自分の祈りに直ちに答えがあることを望み、すぐに答えられないと失望するように誘惑される。さて、わたしの経験はこれが大変な過ちであることを教える。遅延は特別にわたしたちの益のためである。わたしたちは自分の信仰が真実で真心からのものであるか、あるいは海の波のように変わりやすいかを吟味する機会を得るのである。」（健康についての勧告 380, 381）

個人的復習問題

1. 神のみ摂理がどのように働くかを説明しなさい。
2. 試練はどのようにわたしたちの信仰を疑わせることがありますか。
3. なぜ、神にとって、わたしたちの一時的な状況よりも、わたしたちの救いのほうが重要なのですか。
4. わたしたちが厳しい環境に直面したとき、何をしなければなりませんか。
5. わたしたちは神がどのように祈りに答えてくださることを期待すべきですか。

第一安息日献金 世界総会教育センターのために

ロアノークは、周囲の地域を合わせて人口が 30 万人を超えるアメリカの都市で、南西部バージニア州のブルーリッジ山脈に囲まれています。1984 年に SDA 改革運動の世界総会はニュージャージー州からこの美しい谷へ本部を移しました。1995 年この隣接した土地に慎ましく魅力的なオフィスビルが建てられました。たしかにわたしたちは心から次のように言うことができます、「主は今に至るまでわれわれを助けられた」(サムエル記上 7:12)。



今やもっと大幅な拡張の時です。安息日の礼拝者は小さなオフィスの聖所からははみ出しており、わたしたちの世界中における伝道活動が発達してきたため、主の働きをもっと効果的に代表する必要が顕在化しています。結果として、提案されている建築計画には、もっと大きな礼拝堂、世界中に闇に光を放散するための拡張された印刷所、訓練セミナーの提示やゆくゆくは高等教育のための伝道学校のための教育施設、また弱った人に健康と慰めをもたらす単純な福祉施設が含まれており、主のみ名に栄光を帰すことを目指しています。

わたしたちの教派の働きを国際レベルで正しく表すということは実に資金のかかる働きであり、みなさんの祈りと資金的な援助は、この拡張を実現させるために大いに必要とされています。

「〔神の〕み働きを前進させることを求める人々は、働きが神の要求される完全を例証することができるように、自分たちの持っている最高のものを捧げるべきである。

神はこの時代にご自分のためになされる働きによって尊ばれなければならない。このお方の働きは着実に前進しなければならない。忠実と適性がすべての分野であらわれていなければならない。建築される建物は、神のみ摂理と他の場所でなされるべき働きへの関わりに見合ったものでなければならない。」(ビュー・アンド・ペラド 1902 年 6 月 24 日)

事業は大きく、時は今です。主がどのようにこの事業に貢献するために皆さんを召しておられるかを、どうぞ考えてください。やもめのレプタのようにあなたの伸ばされた手と惜しめない献金は、本当にこの拡張された施設を通して全世界へと奉仕する長い道りを行くことができます。先立ってお礼申し上げます。神様がみなさんを祝福してくださいますように！

世界総会実行委員会の皆さんの兄弟より

すべてのことにおいて忠実

「小事に忠実な人は、大事にも忠実である。そして、小事に不忠実な人は大事にも不忠実である。」(ルカ 16:10)

「もしあなたがわずかなことに忠実であれば、あなたの忠実さは、あなたがキリストの学校の生徒であることを証するのである。」(ユース・インストラクター 1895 年 11 月 7 日)

推奨文献：キリストの実物教訓 248-261

日曜日

1 月 25 日

1. 正しい態度

a. ヨセフは自分の身に何が起ころうと、いつも正しい態度を表していたことがどのようにわかりますか(創世記 39:2, 23)。

「ヨセフは自分の分に不平を言わなかったし、主がなぜ義のために苦しむことを許されたか疑問に思うこともしなかった。彼はどんな落胆の雲も自分の心に鬱積(うっせき)することを許さなかった。彼は神を信じ、自分の救いのときを忍耐強く待った。彼はこの患難が〔牢獄にいる間〕、神に栄光を帰し、自分と交わる人々の益となる機会となるべきだと決めていた。」(レビュー・アンド・ヘラルド 1888 年 2 月 21 日)

b. わたしたちが神に忠実であることによって正しい態度をとっているとき、他の人々は何を見ますか(創世記 39:3; マタイ 5:16; コリント第二 3:2)。

「〔ヨセフ〕の感化力は、パロの宮廷から国土全体に及び、神を知る知識は遠く広くゆきわたった。」(人類のあけぼの上巻 391)

「ヨセフはどこへでも自分の宗教を携えていった。そしてこれが彼の揺るがない忠誠の秘訣であった。」(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 1 巻 1097)

「神の民の良いわざは、言葉よりも力強い感化力がある。」(教会への証 2 巻 443)

2. 忠実であること

- a. なぜポテパルは、ヨセフを家全体を治める者となるよう昇格させたのですか（創世記 39:3, 4）。

「ヨセフにゆだねられたものが、すべて驚くべき繁栄をもたらしたことは、直接奇跡が行なわれたためではなかった。それは彼の勤勉と管理と活動に対して、天からの祝福が加えられたのである。ヨセフは、この成功を神の恵みに帰し、偶像礼拝者の主人もそれがこれまでにない繁栄の秘訣であることを認めた。ところが、目的に向かったゆめまず努力をするのでなければ、成功を収めることはできない。神は、神のしもべが忠実であることによって栄光を受けられた。」（人類のあけぼの上巻 236）

- b. わたしたちの義務に対する忠実さに関して、何が教えられていますか（ルカ 16:10-12; コロサイ 3:22, 23）。

「生活上のつましい平凡な義務はみな忠実さをもってなされなければならない。『主に対してするように、心から』と使徒は言っている。わたしたちの労働の分野が何であっても、家事でも畑仕事でも知的研究であっても、わたしたちがキリストをすべてのことにおいて最初で最後で最上としている限り、神の栄光のためにそれを果たすことができるのである。」（教会への証 5 巻 459）

「もし人がどこにしようと自分の義務を忠実に果たすならば、善のための力となる。神はヨセフに獄吏の恩寵を得させられた。そして忠実なヨセフにすべての囚人に対する責任が委ねられた。」（サインズ・オブ・タイムズ 1880 年 1 月 8 日）

「どんな種類の働きにも、心と魂を込めなければならない。そのとき快活さと能力がある。……すべての義務を果たすことにおける忠実さは、働きを高尚にし、神が是認することのおできになる品性を表す。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 5 巻 1112）

- c. ヨセフの低いしもべとしての忠実さは、最終的にどのように神から報いられましたか（創世記 41:41-43; 箴言 22:29）。

「強く、バランスの良い、釣り合いの取れた品性は、徹底的で忠実な義務の遂行によって築かれる。ヨセフは傷のない品性をもっていた。そして彼がわずかなことに忠実であることを見出されたとき、最終的に国事を委ねられたのである。」（サインズ・オブ・タイムズ 1891 年 5 月 25 日）

3. 奴隷のくびきから息子へ、ふたたび

- a. ポテパルは、ヨセフの品性の高潔さにどれほどの信頼をおきましたか（創世記 39:6; テサロニケ第一 4:11, 12）。

「神を信じる者の純潔と高潔とが、偶像礼拝者とは著しく対照的にあらわされることを神は望まれた。こうして、異教の暗黒のただ中であって、天の恵みの光が輝かされるのであった。

ヨセフの温順と忠誠は、侍衛長の心を捕え、ヨセフを奴隷というよりもむしろ愛する者になるようにさせた。」（人類のあけぼの上巻 236, 237）

- b. 真の神の男女は、どのような種類の感化力を、自分たちの交わる人々にもたらすべきですか（創世記 39:5; 30:27）。

「神の契約の箱がイスラエルに休息と繁栄をもたらしたように、この神を愛し、神を畏れる青年は、祝福をエジプトへ携えていった。これは非常に顕著にあらわれていたので、彼が仕えていた家の主人ポテパルは、自分のすべての祝福を自分が買った奴隷によるものと認め、彼をしもべというよりは息子とした。神のご目的は、ご自分のみ名を愛し、尊ぶ人々が自らも尊ばれ、彼らを通して神に捧げられる栄光が彼ら自身にも反映することである。」（ユース・インストラクター 1897 年 3 月 11 日）

- c. 終わりの時代に、どのようにたやすく正直でまっすぐな男女を見出すことができるようになりますか（テモテ第二 3:1-4）。テモテにある警告は、神の民だと公言する人々に言及したものだということが、どのようにわかりますか（テモテ第二 3:5-9; ペテロ第二 2:1-3）。

「現代の真理のみ事業は、正しいことと義務の自覚に忠実であり、道徳的高潔さが堅固で、神のみ摂理の機会に匹敵する精力をもった人々がいないために損害をこうむっている。そのような資質は、働きや神のみ事業に投資される莫大な富よりも価値がある。」（教会への証 3 巻 23）

「主がご自分の宝石を集められるとき、真実で率直で正直な者は、喜びをもって見られる。御使たちはそのような人々のために冠を作ることに従事し、これらの星の宝石の冠は光輝、すなわち神の御座から放射される光で反射するのである。」（われらの主よ、きたりませ 309）

4. 学ぶ者の精神

- a. ヨセフがエジプト軍の高官の奴隷になったことには、どのような重要な意味がありますか(創世記 39:1; 41:33-37)。

「エジプトに到着したヨセフは、パロの侍衛長ポテパルに売られてそこで十年間仕えた。……

ヨセフは、地位の高い人や学者と接し、科学、語学、社会情勢などの知識を得た。これは、彼が将来エジプトの総理大臣となるのに必要な教育であった。」(人類のあけぼの上巻 235-237)

- b. 何人かの偉大な指導者と彼らのかつての職業を挙げなさい(列王記上 19:19-21; 出エジプト記 3:1; マタイ 4:18, 19)。なぜ神は、しばしば人生の単純な職業に携わっている人々をお選びになるのですか(コリント第一 1:26, 27)

「〔第三天使のメッセージが〕最大の力で伝えられるとき、主は謙遜な器を通して働かれ、主の奉仕に献身した人々の心を導かれる。働き人は、学歴ではなくて、聖霊を注がれることによって資格を与えられる。信仰と祈りの人は、聖なる熱意に燃えて出て行き、神から与えられる言葉を宣言せざるをえなくなる。バビロンの罪は暴露される。」(伝道 699, 700)

- c. 働き人について神の選択は人の選択と、どのように違いますか(サムエル記上 16:6-13)。主は何を探し求めておられますか(使徒行伝 13:22; 詩篇 143:10)。

「サムエルがえらぼうとした〔エッサイの息子の中で〕兄たちは、神がイスラエルの王として必要と思われる資格をそなえていなかった。高慢で、自己中心で、自信に満ちた彼らは退けられ、彼らから軽くみなされていた者、青年らしい単純さと誠実心をもった者、自分で自分をとるに足りないものに思っていた者、王国の責任を負うために神から教育される可能性のある者が選ばれた。」(教育 315)

5. 神の忠実さ

- a. 神が男女を扱われるとき、どれほど忠実であられますか（哀歌 3:22, 23; テサロニケ第一 5:24; 黙示録 19:11）。

「この試みの時に、主はご自分の民をお忘れになるだろうか。主は、洪水前の世界に刑罰がくだった時、忠実なノアをお忘れになっただろうか。平地の町を焼き尽くすために火が天からくだった時、ロトをお忘れになっただろうか。エジプトで偶像礼拝者たちに囲まれていたヨセフをお忘れになっただろうか。イゼベルがエリヤをバアルの預言者と同じ運命にすると誓って彼を脅かした時、主はエリヤをお忘れになっただろうか。牢獄の暗く陰うつな穴にあったエレミヤをお忘れになっただろうか。火の炉の中の三人の人物を、あるいはライオン穴の中のダニエルを、お忘れになっただろうか。キリストはご自分のひとみのような人々、すなわちご自分の尊い血で買った人々を見捨てることはおできにならない。」（預言の霊 4 巻 445, 446）

- b. わたしたちを救い、またわたしたちの人生を導いて下さる神の忠実さへの確信を与えるべきものは何ですか（ピリピ 1:6; ヘブル 10:23; テサロニケ第二 3:3）。

「わたしたちは自分の必要やわずらいや悲しみを、自分たちの救い主に持っていないために、多くの貴重な祝福を失う。このお方はすばらしい勧告者であられる。このお方はご自分の教会を非常な関心と優しい同情に満ちた心をもってご覧になる。このお方はわたしたちの必要の深みに入ってきて下さる。しかし、わたしたちの方法はいつもこのお方の方法であるとは限らない。このお方はすべての行動の結果をご覧になり、自分自身の立てた賢明だと思われる計画にではなく、忍耐強くご自分の知恵に信頼するようお求めになる。……

捧げられたすべての真心の祈りは、キリストの血の効力と混ぜあわされる。もし答えが遅れるとすれば、それはわたしたちが神の誓われた言葉をわがものと主張する聖なる大胆さをあらわすことを、神が望んでおられるからである。約束された方は忠実な方である。全面的にご自分に明け渡された魂を、このお方がお捨てになることは決してない。」（天国で 74）

個人的復習問題

1. クリスマンとして、正しい態度を持つことは、なぜ重要なのですか。
2. わたしたちの携わる働き分野が何であろうと、どのようにふるまうべきですか。
3. わたしたちが世に与えることのできる最大の証は何ですか。
4. 今日神は、男女の心の中に何を探しておられますか
5. 主がわたしたちを裏切られることは決してないことを、どのように確信できますか。

ヨセフの最大のテスト

「不品行を避けなさい。人の犯すすべての罪は、からだの外にある。しかし不品行をする者は、自分のからだに対して罪を犯すのである。」(コリント第一 6:18)

「ヨセフの誠実さが、エジプトのすべての民の命を守った。」(患難から栄光へ上巻 5)

推奨文献： 性的ふるまい、姦淫、離婚についての証 81-98

日曜日

2月1日

1. あなたが倒れないように気をつけるがよい
 - a. 物事がみな順調に行くとき、わたしたちはいつも何に気をつけているべきですか (コリント第一 10:12; マタイ 26:41)。

「われわれは今、神のことについて、深い、生きた経験を求めなければならない。一刻もむだにはできない。われわれの周囲には重大な事件が起こっており、われわれはサタンの魔法の働いている場にいるのである。神の見張り人たちよ、眠ってはいけない。敵は近くに忍び込んでいて、あなたが気をゆるめて眠気を催すならば、いつでも飛びかかってえじぎにしようと待ち構えている。」(各時代の争闘下巻 369)
 - b. 神がヨセフを豊かに祝福しておられた一方で、悪魔は何をしようとしましたか (創世記 39:5-7; ペテロ第一 5:8)。

「わたしたちの大敵は、ちょうどししが自分の獲物を探すように、つねに魂を滅ぼす機会を探している代理人を持っている。」(文書伝道 52)

「人は生来、サタンのほのめかしに従う傾向がある。そして彼は、……力強い勝利者なるキリストが自分のうちに住み、願望を導き、力を与えてくださらない限り、首尾よく抵抗することはできない。神だけがサタンの力を制限することがおできになる。彼は地をあちこちらと行きめぐり、その中を上へ下へと歩き回っている。彼は魂を滅ぼす機会を失うことを恐れて、一瞬たりとも見張りを怠ることはない。」(教会への証 1 巻 341)

2. 悪魔のわな

- a. ヨセフの目の前に姦淫のわなを置いた悪魔の目的は何でしたか（創世記 39:7; 箴言 5:1-5; 7:22, 23, 27）。

「若者にとって、性的な誘惑ほど危険な、あるいは致命的な誘惑はほとんどない。またもしその意志に屈した場合に、現在と永遠にわたってこれほど決定的に魂と身体に破滅的な誘惑はほかにない。彼の将来にわたる幸福は、一瞬の決定にかかっているのである。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホイト・コメント] 1 巻 1097）

「若い友よ、放蕩に費やしたわずかな時間があなたの全生涯を苦しいものにする実を結ぶ。誘惑に身をゆだねて軽率に過ごした一時間は、あなたの生涯を全然誤った方向に導くかもしれない。若い時代は一度しかこない。だから、有益に過ごさなければならない。一度通り過ぎれば、引き返して自分の誤ちを正すことはできない。」（アドベンチスト・ホーム 56）

- b. 人はどの状況下でもっとも不道德の罪に陥りやすいですか（創世記 39:11, 12（上句）；箴言 7:13-21）。

「故意に神の戒めから離れるすべての人は、自らをサタンの支配下においているのである。多くの人々は悪と関わりながら、自分が好きな時に断ち切れると思っている。しかし、彼はますます引かれていき、ついに自分自身よりも強い意志によって支配されていることを見出すに至る。彼はその神秘的な力から逃れることができない。ひそかな罪、あるいは強い情欲が、カペナウムの悪霊に取り付かれた者のように無力な捕囚として、彼をとらえるのである。」（信仰によってわたしは生きる 312）

「人は父親、母親、妻、あるいは友から自分の罪を隠すことができるかもしれないが、なおすべてはみ神の前に明らかであり、このお方の記録の書にあるのである。」（性的ふるまい、姦淫、離婚についての証 89）

- c. なぜわたしたちは名誉を傷つけるような状況で異性と二人だけでいることを避けるべきなのですか（テサロニケ第一 5:22）。

「イエスを愛し、戒めを守るすべての人は、すべて悪と見えることを避けるよう努める。それはそう強いられるからではなく、純粋な模範にならっているからであり、自分の心のうちに記された律法に反するすべてのことに嫌悪を覚えるからである。」（同上 81）

3. わたしたちの思想の中心

- a. ヨセフがポテパルの妻の魅惑的な誘惑に直面したとき、彼の思想はどこに集中していましたか（創世記 39:7-9; コロサイ 3:1-3）。

「ヨセフの答えは、宗教的原則の力を示した。彼は、地上の主人の信頼を裏切ろうとしなかった。そして、結果がどうなろうと、彼は天の主人に忠実であろうと願った。多くの人々は、神と聖天使たちの目が見守っているなかで、同胞の前ではないようなかつてなふるまいをする。しかし、ヨセフはまず第一に神のことを考えた。『どうしてわたしはこの大きな悪をおこなって、神に罪を犯すことができませんか』と彼は言った（創世記 39:9）。」（争闘と勇氣 75）

「試みに攻撃された時には、周囲を見たり、自己の弱さを見たりしないで、みことばの力を見なさい。その力はすべてあなたのものである。詩篇記者はこう言っている、『わたしはあなたにむかって罪を犯すことのないように、心のうちにみ言葉をたくわえました』（詩篇 119:11)」（各時代の希望上巻 135, 136）

- b. 彼女の説得に対して、ヨセフにしり込みさせたものは何でしたか（創世記 39:9; ヘブル 8:10; 詩篇 119:10, 11）。わたしたちが神のみ約束を心のうちに秘めるとき、何が起こりますか（ペテロ第二 1:4）。

「神への畏れは、気高く純潔な高める愛と結合するとき、あなたを不正直な行動から守る。……すべての青年にとって、ヨセフの歴史にはなんという教訓があることであろう。ここに最も強力な誘惑の下にあって守られた道徳的高潔さがある。彼の徳を襲った攻撃は、なんと激しく、魅惑的であったことだろう！そのような源から、そのような形で来た誘惑は、青年の思いを墮落させるものと思われた。ヨセフは自分の宗教的な原則によって救われた。その原則が彼を迅速にきっぱりとサタンの策略に抵抗させたのである。」（勝利されたキリスト 97）

「わたしたちは多岐に渡る方法で誘惑されることであろう。しかし、わたしたちが誘惑されるとき、わたしたちは自分たちが勝利できるように備えられたものを覚えていなければならない。……真にキリストを信じる者は、神性にあずかる者とされ、どのような誘惑の下にあっても自分のものとするのできる力を持っている。彼らは誘惑の下に倒れることがなく、打ち負かされるがままにされることもない。試練の時に、彼らは約束をわがものと主張し、これらの約束によって、世にある欲のために滅びることを免れるのである。」（同上 197）

「青年たちに、神のみ言葉を厳密に研究するように教えなさい。魂のうちに受け入れるとき、それは誘惑に対する力強い防壁となることがわかる。」（両親、教師、そして生徒への勧告 121）

4. 誘惑から逃れる

- a. 性的な誘惑に対処する唯一の方法は何ですか (創世記 39:12; コリント第一 6:18)。

「ヨセフは静かに助けを求めて目を天に向け、誘惑者の手にそれを残したまま、自分のゆるい上着をするりと脱ぐ。そして、彼の目は清くない情欲の代わりに、断固とした決心に輝き、彼は叫ぶ、『どうしてわたしはこの大きな悪をおこなって、神に罪を犯すことができましょう』。勝利が得られた。彼は魅惑する者から逃れ、彼は救われる。」(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 1 巻 1097)

「一瞬たりとも考えるために立ち止まってはならない。サタンはあなたが誘惑に打ち倒されるのを見ると喜ぶ。あなたの弱い良心と事情を話し合うために立ち止まってはならない。誘惑の第一歩できびすを返しなさい。」(健康に関する勧告 587)

- b. 悪魔が、放縦を促進することによって、子供や青年の純潔や純真を破壊しようとしている時代に、わたしたちはヨセフから何を学ぶことができますか (テモテ第二 2:22; テモテ第一 4:12)。

「子供たちを悪い影響から守るために、親は純潔という原則を教えてやらねばならない。服従と自制という習慣を家庭で身につけた子供たちは、学校生活にほとんど困難を覚え、また青少年を襲う多くの誘惑を免れることができる。親は子供たちを、どんな境遇どんな場所にあっても、神に真実であるよう教えなければならぬ。そして品性を強くするような感化を及ぼすものを、子供たちのまわりに置いてやらねばならない。」(家庭の教育 106)

- c. 誘惑の道に陥ることを避けるために、わたしたちはどのような実際的な手段をとることができますか (ローマ 13:14; 詩篇 101:3)。

「サタンの惑わしの餌じきとなりたくないと思う人たちは、魂の道をよく守らなければならない。彼らは不純な考えを暗示するようなものを読んだり見たり聞いたりしないようにしなければならない。心の敵が暗示するようなことは、どんなことにも手当たり次第に心を留めてはならない。わたしたちは忠実に心を警戒しなければならない。そうしないと外からの悪が心の中の悪を呼び起こし、魂はやみの中をさまようであろう。」(アドベンチスト・ホーム 458)

5. 天は見ている

- a. ヨセフが人生最大の誘惑に直面していたとき、だれがヨセフを見ていましたか（創世記 39:2; 箴言 5:20, 21; コリント第一 4:9）。

「火のような試練が、さらに厳しくヨセフの信仰と高潔さをテストするのであった。エジプト人の道徳は非常に低かった。彼の主人の妻はみだらな女であった。そして今正しい道から反れ、神の律法を犯させようとする誘惑が、若い追放者の前に示されている。彼の将来の幸福は、一瞬の決定にかかっている。サタンが勝利するであろうか。今、原則がヨセフの心に宿っているであろうか。彼は今、自分の前に神への畏れを持つであろうか。彼は神聖な律法に対して忠実で真実であろうか。御使たちは非常な関心をもってこの神の僕を見ていた。」（サイン・オブ・タイムズ 1880 年 1 月 8 日）

- b. 人間の目は、わたしたちがすることを見ることができないかもしれませんが、またわたしたちは自分の個人的な罪を人間の目からは隠すことができるかもしれませんが、どの現実をつねに自分の心に留めているべきですか（ヘブル 4:13; 伝道の書 12:14）。

「もし、神がわれわれのなすこと、言うことのすべてを見聞きして、その言行動作をそのまま記録しておられること、そして、われわれはいつかそのすべてに直面すべきであることを常に念頭においていれば、罪を犯すことを恐れるであろう。青年たちはどこにいて、何をしようとも神の面前にあることを覚えていよう。われわれの行動は、なにも一つ注視の目をのがれることができない。至高者からわれわれの道を隠すことはできない。人間の法律は時としてきびしく思われるが、犯罪が発見されないまま処罰を免れることがよくある。しかし、神の律法はそうではない。どんな夜中の暗黒も、犯罪者を隠すことはできない。自分ひとりだけであると思っても、目に見えない目撃者がすべての行為を見ている。心の動機でさえも、神の目にはあきらかである。」（人類のあけぼの上巻 237, 238）

個人的復習問題

1. なぜクリスチャンはいつも見張っているべきなのですか。
2. 一つの罪が、どのようにわたしたちの人生の方向を変えることがありますか。
3. わたしたちはどのようにして最もよく誘惑に対処する準備ができますか。
4. 放縱の罪に落ち込むことを避けるために、どのようなステップを踏むことができますか。
5. わたしたちが人間から離れて一人しかないときに、罪を犯すように誘惑されたら、いつも何を覚えているべきですか。

腐敗した時代での純潔

「あなたは、年が若いために人に軽んじられてはならない。むしろ、言葉にも、行状にも、愛にも、信仰にも、純潔にも、信者の模範になりなさい。」(テモテ第一 4:12)

「すべての青年にとって、ヨセフの歴史にはなんとという教訓があることであろう。ここに最も強力な誘惑の下にあって守られた道徳の高潔さがある。」(勝利されたキリスト 97)

推奨文献：教会への証 2 巻 390-411

日曜日

2月8日

1. 神は今日ヨセフたちを召しておられる

a. ヨセフのような青年たちを神は今日、何になるよう召しておられますか (創世記 39:9; テモテ第一 4:12; 箴言 31:10-12)。

「あなたはがけのふちにどのくらい接近して安全に歩けるかなど試みしてみる必要はない。危険に接近する第一歩を避けなさい。心の興味というものは、あなどることができない。あなたの資本はあなたの品性である。黄金の宝をたいせつにするように品性をたいせつにしなさい。道徳的廉潔と自尊心と強い抵抗力は、絶やすことなくしっかりとたいせつに持っていなければならない。ちょっとでも慎みを捨ててはならない。一つ無遠慮な行為をしても、また無分別な行為をしても、それは誘惑に對し戸を開くことによって心を危くすることができ、そして抵抗する力は弱くなる。」(7 ドベンチスト・ホーム 459)

b. 性的な罪を犯すとき、どのような損害がもたらされますか (箴言 6:27-33)。

「若者にとって、性的な誘惑ほど危険な、あるいは致命的な誘惑はほとんどない。またもしその意志に屈した場合に、現在と永遠にわたってこれほど決定的に魂と身体に破滅的な誘惑はほかにない。」(若い愛人たちへの手紙 69)

「ダビデは悔い改めた人であった。そして、彼は自分の罪を告白し、憎んだけれども、それを忘れることはできなかった。」(性的ふるまい、姦淫、離婚についての証 89)

2. 攻撃の下にある結婚

- a. 何が、唯一神が道徳的で純潔だとお認めになる緊密な身体的関係ですか（創世記 2:21-25; ヘブル 13:4）。

「〔結婚〕制度に関する神の原則を認めてそれを守るとき、結婚は祝福となる。それは人類の純潔と幸福を保護し、その社会的な必要を満たし、身体的、精神的、道徳的性質を向上させる。」（アドベンチスト・ホーム 16）

- b. 神に与えられたとおりの結婚制度がもはや社会から性的な道徳の標準として認められないとき、何が起こりますか（イザヤ 5:20; ローマ 1:26-32; ヨハネ 3:19, 20）。

「至るところで人類の難波、崩壊した家族の祭壇、崩壊した家族が見られる。原則があやしむべきほどに捨てられ、道徳の標準が低められ、地は速やかにソドムと化している。神の裁きを世界にもたらしたソドム的な習慣、すなわち世界が水によって覆われるようにし、ソドムを火で滅ぼす原因となった習慣が急速に増している。わたしたちは終わりに近づいている。神は人類の強情を長く耐えてこられたが、彼らの刑罰はなお確実なのである。世の光だと公言する人々は、すべての悪から離れようではないか。」（性的ふるまい、姦淫、離婚についての証 120, 121）

- c. 神の教会が自分たちの領域の中で性的な不道徳が存在することを許すなら、何が起こりますか（エペソ 5:11, 12; ローマ 2:21-24; ユダ 5-7）。

「わいせつ、不法的な緊密関係、汚れた行為が、わたしたちの中に変な度合いで入り込んでおり、聖なる事柄を扱っている牧師たちがこの面において有罪である。彼らは隣人の妻をむさぼり、第七条が破られている。わたしたちは墮落したバビロンの姉妹となる危険、すなわちわたしたちの教会が墮落し、あらゆる汚れた靈に満たされ、汚れて憎むべき鳥の巣窟となる危険がある。この存在する悪を癒すために決定的な運動をなさずに罪が晴れることがあろうか。」（同上 188）

3. 視覚的な罪が急増中

- a. 容易にパソコンやその他の携帯電子機器（スマートフォンやタブレット）を通してインターネットにアクセスできるために、どの不純の罪が増えていますか（マタイ 5:27, 28; ヨハネ第一 2:16）。

「興奮させるラブストーリーや不純な写真には墮落させる感化力がある。……墮落がいたるところにあふれている時代である。目の欲と墮落した情欲が、見たり読んだりすることによって目覚める。心は想像を通して墮落している。思いはより低く卑しい情欲を目覚めさせる光景を考えることに楽しみを見出す。汚れた想像を通して見るこれらの悪徳の光景は道徳を墮落させ、惑わされのぼせあがった者に、好色な情欲を野放しにする用意をさせるのである。」（教会への証 2 巻 410）

- b. わたしたちと子供たちをこのような悪魔の戦略から保護するために、何ができますか（ルカ 11:34, 35; 詩篇 101:3; ヨブ 31:1）。

「親は子供たちに純潔であってほしいと思うなら、神が喜んでくださるような清い交わりで彼らをかこんでやらねばならない。

軽率でだらしない退廃的な習慣から子供たちを守るために、親はどんなに注意をはらわねばならないことであろう。ご両親がた、あなたがたは自分たちがどんなに大切な責任を負っているか、気づいているであろうか。あなたがたは、子供たちがどんな友人と交わり、どんな感化を受けているかも知らないで、だまってつきあうがままにさせているであろうか。子供たち同士だけでいさせてはならない。彼らに特別な注意を払いなさい。子供たちが毎晩どこにいて、何をしているか、知っていなければならない。子供たちが身につけている習慣は、みな清いであろうか。あなたは彼らに道徳的純潔の原則において指示を与えてきたであろうか。」（家庭の教育 107, 108）

- c. まわりに不道徳があふれているため、わたしたちの思いと愛情はどこにあるべきですか（ピリピ 4:8; ペテロ第二 1:4; コロサイ 3:1, 2）。

「もし子供たちの心が、まだ柔らかくて感受性に富む時に、真実なもの、清いもの、良いもので満たされるなら、子供たちの内には純潔で高尚なものを好む傾向が形造られ、そう簡単には悪い思いや汚された思いに負けなくなる。」（同上 109）

「野外でのレクリエーションや自然界にある神のみわざを熟考することは、最高の益がある。」（教会への証 4 巻 653）

「もしも両親と保護者たちが、子供たちに清くあってほしいと思うなら、自分たち自身の心と生活を清く保つようにしなければならない。」（家庭の教育 14）

4. 神のために固く立つ

- a. かつてなかったほど純潔のために立ち上がることが、なぜそれほど重要なのですか（テモテ第二 3:13; コリント第一 6:9-11）。

「不道徳が至る所に多く行なわれている。淫蕩（いんとう）は現代独特の罪である。今日ほど悪がかくまで厚かましくその醜い頭をもたげた時代はない。人々は無感覚になっているようで、徳と真の善良さを愛する者たちは、悪の厚かましさと力と優勢さにほとんど気をくじかれている。……おびただしい罪悪は、未信者や嘲笑者たちにのみ限られているわけではない。そうであればよいのであるが、そうでないのである。キリストを信ずると自称する多くの男女が罪を行なっている。主の再臨を待つと言っている者のある人たちでさえ、サタンと同様その事のために何の準備もしていないのである。彼らはすべてのけがれから自らを清めていない。」（アドベンチスト・ホーム 368）

- b. 高い原則を持つクリスチャンの男女は、どのような種類の思いをもっていますか。何がそれを可能にするのですか（テモテ第二 1:7; エペソ 4:13, 14; ヤコブ 1:6-8）。

「世界で最も欠乏しているものは人物である。それは、売買されない人、魂の奥底から真実で、正直な人、罪を罪とよぶのに恐れない人、磁石の針が南北を指示して変わらないように、良心が義務に忠実な人、天が落ちかかろうとも正しいことのために立つ人、—そういう人である。」（教育 54）

- c. わたしたちは政策や傾向によるよりも、むしろ原則と真理によって支配される思いを、どのようにして持つことができますか（ピリピ 2:5; 詩篇 40:8; マタイ 4:4）。

「自分たちの義務を神から学んだことが一度もなく、自ら自分に関わる神のご目的を知ったことのない人々は、闇の権力との厳しい戦いのときにあてにならない。彼らは外面的な現況に揺らぐ。……

新しくされた心には、神の御旨に従うという定まった原則がある。なぜなら、正義と善と聖なるものへの愛があるからである。ためらったり、好みに左右されたり、あるいは都合を考えたり、他の人がしているからといってある道を選んだりすることがない。一人ひとり自分で生きるべきである。」（教会への証 2 巻 487, 488）

5. 変わらない原則

- a. ヨセフが神のために固く立つことを選んだとき、何が起こりましたか（創世記 39:12-20）。わたしたちはなぜこれによって驚くべきではないのですか（テモテ 第二 3:12）。

「ヨセフの忠実な高潔さは彼の評判と彼の自由を失う結果に導いた。これは道徳的で神を畏れる人が服する最も厳しいテストである。徳がちりの下に踏みにじられている一方で悪が栄えているように見える。誘惑する者は繁栄のうちに、道徳的な正当性の模範として生きているのに、その一方で原則に真実なヨセフが、名誉を傷つける最も嫌悪すべき犯罪の告発の下にいるのである。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホイト・コメント] 1 巻 1097）

- b. わたしたちは結婚制度の純潔さを守るために立ち上がる準備を、どれほど堅固になすべきですか（マタイ 14:3-10）。

「結婚は創造以来、神聖な制度として神によって制定された。……そうであれば、この神の結婚制度を、あなたの前に、第四条の安息日と同様、しっかりと据えなさい。」（性的ふるまい、姦淫、離婚についての証 159）

「〔バプテスマの〕ヨハネは、なぜヘロデに、兄弟の妻と共に住むことは正しくないと行って、ヘロデヤの怒りを招く必要があったのだろうか。キリストの先駆者は、はっきり物を言ったために、その生命を失ったのである。彼は、罪のうちに生活している人々の怒りを引き起こさずに、通りすごすことはできなかったのであろうか……

このように、神の律法の忠実な擁護者として立つべき者が論じ合い、ついに、忠実さのかわりに方策が取りいれられて、罪が譴責されずにまかり通っている。教会の中に、忠実な譴責の声がもう一度聞かれるのは、いったい、いつのことであろうか。」（国と指導者上巻 110）

個人的復習問題

1. なぜ第七条の違反は魂にとってそれほど危険なのですか。
2. 今日社会は、キリストの再臨に関する預言を、どのように速やかに成就していますか。
3. どのように技術は、使用者の手のうちで、致命的な武器となることができますか。
4. 今日、世界において最大の必要は何ですか。
5. 神の制度を守るために、あなたは自分の命を喜んで捨てるでしょうか。

クリスチャン品性の発達

「わたしの兄弟たちよ。あなたがたが、いろいろな試練に会った場合、それをむしろ非常に喜ばしいことと思いなさい。あなたがたの知っているとおり、信仰がためされることによって、忍耐が生み出されるからである。」(ヤコブ 1:2, 3)

「人生における小さなことが、品性の発展にどんな影響をおよぼすかを悟っている人は非常に少ない。われわれのなすべきことで、ほんとうに小さいというものは一つとしてない。われわれが日ごとに直面する環境は、われわれの忠実さをためし、さらに大きな信頼を受ける資格がある者かどうかをためすために意図されている。」(人類のあけぼの上巻 245)

推奨文献：患難から栄光へ下巻 260-270

日曜日

2月15日

1. クリスチャンの試練

- a. なぜヨセフは人生においてさらにもう一つの試練に入ることが許されたのですか (創世記 39:20; 詩篇 105:17, 18; ペテロ第一 4:14-16)。

「ヨセフが陰うつな牢獄という光景の中で果たした役割は、ついに彼を繁栄と栄誉へ高めた。神は、誘惑、逆境、困難によって、彼に高められた地位を占める準備をさせる経験を得るように意図された。」(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 1 巻 1097)

- b. わたしたちは試練を通るとき、どの約束を心にとめておくことができますか (創世記 39:21; コリント第一 10:13; ペリピ 4:19)。

「神は悪い告発者によって汚された〔ヨセフの〕評判を安全に守られて、後に、神ご自身が良いと思われる時に、それが輝き出るようにされた。」(霊的賜物 3 巻 145)

「すべての誘惑に対して、わたしたちには逃れの道となる神の約束がある。そうであれば、なぜこれほど多くの者が打ち負かされてしまうのであろう。それは彼らが神に信頼をおいていないからである。」(クリスチャン節制と聖書の衛生 22)

2. 満ち足りて

- a. ヨセフの信仰は、この厳しく不正な試練によって、なぜ揺り動かされなかったのですか (創世記 39:22, 23)。

「ヨセフは初め獄屋番の苛酷な扱いを受けた。「彼の足は足かせをもって痛められ、彼の首は鉄の首輪にはめられ、彼の言葉の成る時まで、主のみ言葉が彼を試みた」と詩篇記者は言っている (詩篇 105:18, 19,)。しかし、ヨセフの真の品性は、この暗い獄屋の中でも輝いていた。彼は、信仰と忍耐とを堅く守り通した。彼の長年の忠実な奉仕は、ここで不当な報いを受けることになったが、彼は気分を害したり、信頼を失ったりはしなかった。ヨセフは自己の無実を自覚していたから、心は平静であった。そして、神に自分のことをゆだねていた。」 (人類のあけぼの上巻 238)

- b. 不正の苛酷さのゆえに神を疑うよう誘惑されるとき、わたしたちはだれを思い出すべきですか (イザヤ 53:7; ペテロ第一 2:21-23)。

「あなたは誘惑されているであろうか。〔長兄なるお方〕は救出してくださる。あなたは弱いであろうか。このお方は強めてくださる。あなたは無知であろうか。このお方が啓発してくださる。『主は心の打ち砕かれた者をいやし、その傷を包まれる』 (詩篇 147:3)。あなたの不安や試練が何であろうと主の前に自分の事情を広げなさい。あなたの精神は励まされて耐久力を得る。あなたを困惑や困難から解放する道が開かれる。自分が弱く無力であることを知っていれば知っているほど、あなたはこのお方の力のうちに強くなる。」 (サイン・オブ・タイムズ 1902 年 1 月 15 日)

- c. ポテパルが完全に自分の妻の告発を信じてはいなかったという証拠は何ですか (創世記 39:20; 箴言 6:34)。

「もしポテパルが妻の訴えをそのとおりに信じたならば、ヨセフは自分の命を失っていたことであろう。しかし、彼の過去のふるまい、彼のつつしみと堅固な高潔さは、彼の無実を証明していた。しかし、主人の家の評判を傷つけないために、ヨセフは犠牲にされた。その一方、罪深い妻は、彼女の友人たちの目に徳の模範であるかのように高められたのである。」 (同上 1880 年 1 月 8 日)

3. 品性を試すこと

a. 牢獄におけるヨセフの態度は何を明らかにしましたか（ビリピ 2:4）。

「〔ヨセフ〕は犯罪者として告発され、陰うつな牢獄へ入れられたが、気を悪くしたり、自分の問題の意気消沈するような外観を見たりしなかった。彼は自分の忍耐と希望と信仰を保った。彼は自分の心を苦しむ人類に対して閉ざしたり、自分の注意を自分自身に向けたりせず、囚人仲間の問題を聞いて、彼らに親切な同情を寄せた。彼は牢獄の中でさえ、なすべき働きを見出した。彼は実に僕の中の僕であった。神は彼を苦難という学校の中で、より大きな有用性のために準備しておられた。彼は自分自身を治めることを学んでいた。誉と信任の地位から、突然、一見不名誉のそれへおとしめられたのである。しかし、高潔、純真、徳は決しておとしめられることはできない。神の御旨が繁栄の時の彼の支配的な動機であった。そして今彼が牢獄の壁に囲まれている時にも、その御旨に対して同じ敬意を示した。彼はどこへ行っても、どのような状況におかれても、自分の宗教を携えていった。」（サインズ・オブ・タイムズ 1880 年 1 月 8 日）

b. 牢獄にいる間、神はヨセフのうちにどのような種類の資質を与えようとされましたか（創世記 40:1-4; 41:33, 38, 39; 箴言 1:1-5; 14:35）。

「〔ヨセフ〕は自分の逆境を悲しまず、かえって他の人々の悲しみを軽減することによって、自分の悲しみを忘れようとした。彼は、獄屋のなかでもなすべき働きを見いだした。神は、この苦難という学校のなかで、さらに偉大なことに役立つ準備を与えようとされたが、ヨセフは必要な訓練を受けることを拒まなかった。彼は獄屋のなかで、圧迫と専制の結果、また、犯罪の結果を目撃し、正義、同情、慈悲の教訓を学んだ。これが、知恵と同情をもって権威を行使するための準備を彼に与えたのである。」（人類のあけぼの上 238, 239）

「高尚な品性の形成は、一生涯かかる仕事である。それは、熱心でたゆまぬ努力の結果でなければならない。神は機会をお与えになる。成功は、その活用いかんにかかっている。」（同上 246）

「わたしたちは他の人が勝利するのを助けることによって、勝利者になるのである。わたしたちは小羊の血と自分の証の言葉によって勝利する。神の戒めを守ることは、わたしたちのうちに従順な精神を生み、そのような精神の結果である奉仕を、神はお受け入れになることができる。……わたしたちの教会のうちでどれだけの人が、世の光であられるお方を人類に反映するような模範を残そうと努めているであろうか。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1909 年 2 月 25 日）

4. 神のご計画におけるもう一つの段階

- a. 神のみ摂理を通して、ヨセフはどのようにパロの給仕役と料理役に奉仕することができましたか(創世記 40:5-8 (上句))。ヨセフは解き明かしを与える際に、だれに信頼をおきましたか(8 節 (下句)) ; ヤコブ 1:5)。

『あなたがたのうち、知恵に不足している者があれば、その人は、とがめもせず、に惜しみなくすべての人に与える神に、願い求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう』(ヤコブ 1:5)。このような約束には金銀に勝る価値がある。もしへりくだった心で、一つ一つの問題や困惑の時に神聖な導きを求めるならば、このお方のみ言葉は恵み深い答えがあなたに与えられることを保証している。そしてこのお方のみ言葉は決して失望させることができないのである。』(教会への証 5 巻 427)

- b. 給仕役の長の夢は何でしたか。そしてヨセフはそれをどのように解き明かしましたか(創世記 40:9-13)。

「それから給仕役がヨセフに自分の夢を告げ、ヨセフが解き明かしをした。それは給仕役が王の恩寵へ戻され、以前と同じようにパロの手に杯をささげるというものであった。給仕役はその解き明かしに満足して、彼の思いはたちまち安堵した。

ヨセフは彼が三日のうちに囚人ではなくなると給仕役に告げた。彼は自分にあらわしてくれた解き明かしと、ヨセフの手から受けた親切な取り扱い、そして何よりも思いが大変な落胆のうちにあったときに自分の夢を解き明かすことによって自分を助けてくれたことをヨセフに非常に感謝した。』(霊的賜物 3 巻 147)

- c. 料理役は自分の夢について知ろうと胸を躍らせましたが、その意味は何でしたか(創世記 40:16-19)。ヨセフの解き明かしはどれくらい正確でしたか(20-22 節)。

『料理役の長はその解き明かしの良かったのを見て』(創世記 40:16)、彼は勇氣を得て、自分の夢を知らせた。彼がその夢を告げるや否や、ヨセフは悲しそうに見えた。彼はその恐ろしい意味を理解した。ヨセフは親切な同情深い心をもっていたが、高い義務感から、料理役の夢に対して、悲しくはあるが、信頼できる解き明かしを与えた。彼は料理役の頭の上にある三つのかごは三日をあらわすことを告げた。そして彼の夢の中でかごから鳥が食物を食べていたように、それらが木にかけられた彼の肉を食べることになるのであった。』(同上 147, 148)

5. 信頼という教訓を学ぶ

- a. 給仕役の夢の解き明かしを与えた後に、ヨセフは彼に何を頼みましたか。それはなぜですか(創世記 40:14, 15)。給仕役はヨセフの親切にどのように返礼しましたか(23 節)。

「給仕役は感謝しないという罪を犯した。彼がヨセフの元気づける解き明かしによって、自分の懸念から解放されたのち、王の恩寵に戻されたら、当然捕らわれているヨセフのことを思い出し、彼のことを王に良く話すつもりであった。彼は夢の解き明かしが正確に成就したのを見たのである。しかし、繁栄において、彼は苦難と監禁のうちにいるヨセフを忘れてしまった。感謝しないことは、主から最も嘆かわしい罪の一つとみなされている。そしてそれは神と人に忌み嫌われるものでありながら、日常におきている。」(霊的賜物 3 巻 148)

- b. 神はヨセフに牢獄の中でどのような重要な教訓を学んでほしいと望まれましたか(エレミヤ 17:5; イザヤ 49:14-16)。それはなぜですか(コリント第一 1:31)。

「それから二年近くも獄屋の中に残された。彼の心にともされた希望はうすれ、多くの苦難の上に、人に忘れ去られる苦しみと心を痛く感じるのであった。」(人類のあけぼの上巻 240)

「信仰とは 神に信頼すること、すなわち神がわれわれを愛し、われわれの幸福にとって最善であるものをご存知であることを 信じることである。そのときわれわれは自分自身の道を選ばず、神の道を選ぶようになる。信仰によってわれわれは、無知の代わりに神の知恵を受け入れ、弱さの代わりに神の力を、罪の代わりに神の義を受け入れる。われわれの生命、われわれ自身がすでに神のものである。信仰は神の所有権をみとめ、その祝福を受け入れる。真実と誠実と純潔は人生の成功の秘訣としてさし示されている。これらの原則をわれわれに所有させるのが信仰である。」(教育 299)

個人的復習問題

1. 神が品性を発達させるためにお使いになる手段は何ですか。
2. わたしたちはなぜ試練に直面したときにこのお方を見ることができるのですか。
3. 試練や困難を経験するとき、わたしたちはどのように行動すべきですか。
4. わたしたちはどのようにして、真に知恵を受けますか。
5. 人の怠慢によって失望させられるとき、わたしたちは何を覚えているべきですか。

牢獄から王宮へ

「主のみまえにへりくだれ。そうすれば、主は、あなたがたを高くして下さるであろう。」
(ヤコブ 4:10)

「ヨセフは獄屋からエジプト全国のかさにと高められた。……牢獄の中においてあらわされた神への忠誠は、パロの王宮に立ったときにもあらわされた。……最も低いところから、最も高いところにいたるまで、あらゆる場所にあつて忠実に義務を果たしたことはすべての能力を最高の奉仕のために発揮する訓練となった。」(人類のあけぼの上巻 244, 245)

推奨文献：サインズ・オブ・タイムズ 1880 年 1 月 15 日

日曜日

2月22日

1. パロの夢

- a. 給仕役が釈放された時から、ヨセフが二年待って後、神はパロにどのような夢をお与えになりましたか(創世記 41:1-7)。

「エジプトの王は、一夜のうちに二つの夢を見た。それらは、明らかに同じ事件を指示し、しかも大きな災いを予告しているかのように思われた。王は、その夢の意味を理解することができなかった。しかし夢は王の心を悩ましつづけた。エジプトのすべての魔術師や知者たちも、それを解き明かすことができなかった。」(人類のあけぼの上巻 240)

- b. 神は、後にネブカデネザルに対してなされたように、どのようにパロにご自身を表そうとなさいましたか(創世記 41:8; ダニエル 2:1-11, 29)。

「[パロ] は、エジプトの魔術師や博士たちを召した。王は彼らがすぐにもこれらの夢を理解して自分を助けてくれるものと思った。なぜなら、彼らは困難を解決するという評判を持っていたからである。王は自分の夢を彼らに語ったが、彼らのあらゆる魔術や自慢の知恵をもってしてもそれらを説明することができないことがわかって非常にがっかりした。」(霊的賜物 3 巻 149)

2. 解き明かし

- a. パロの窮状は、どのように給仕役にヨセフのことを再び思い出させましたか（創世記 41:9-13）。

「王の困惑と苦悩はますますつのり、王宮全体が恐怖に襲われた。この大騒ぎが起こったときに、給仕役の長は自分が夢を見たときの事情を思い出し、それとともにヨセフの記憶がよみがえってきた。そして、自分の怠慢と忘恩とを考えて、自責の念に苦しめられた。彼はただちに、自分と料理役の長とが見た夢をヘブルの囚人が解き明かしてくれて、彼の言ったとおりになったことを王に話した。

パロが、自国の魔術師や知者たちを退けて、異国人、しかも奴隷の意見を聞くということは恥辱であった。しかし、彼は、心の苦悩が解決されるのであれば、どんなに身分の卑しい者の言うことでも聞き入れようとしていた。使いの者が、すぐにヨセフのところへ送られた。彼は囚人の着物を脱ぎ、ひげをそった。彼の髪の毛が、屈辱と投獄の期間に長くのびていたからである。こうして彼は、王の面前に召し出された。」（人類のあけぼの上巻 240）

- b. 他の人に自分の持っている神の知識を分かち与えるヨセフの習慣から、わたしたちは何を学ぶべきですか（創世記 41:14-16；ペテロ第一 3:15）。

「ヨセフのパロへの答えの中に、彼の謙遜と、神への信仰があらわされている。彼は、つつしみ深く、解き明かしをするすぐれた知恵が自分にあるなどとは言わなかった。『いいえ、わたしではありません』（創世記 41:16）。神だけがこれらの秘密を解き明かすことができるのである。」（霊的賜物 3 巻 150）

「ヨセフはエジプトへ自分と共に神をお連れした。そしてその事実は悲しみの中で快活な態度に表れていた。……

ヨセフの宗教は、あらゆる試練にもかかわらず、彼の気質をうるわしく、彼の人に対する同情を温かく強いものに保った。自分たちが正しく用いられていないと感じると、気難しくなり、狭量で、口やかましく、言葉にもふるまいにも無礼になる人々がいる。彼らは失望のうちに沈み、不愉快になり、他の人々を憎む。しかし、ヨセフはクリスチャンであった。」（神のむすこ娘たち 320）

- c. ヨセフの解き明かしを通して、神はパロにどの預言を明らかにされましたか。それはなぜですか（創世記 41:25-32；ペテロ第二 1:19）。

3. 神によって高められる

- a. 夢の解き明かしのあと、ヨセフはパロにどのような助言をしましたか。またわたしたちはヨセフの経験から何を学ぶことができますか（創世記 41:33-37; ヤコブ 4:10）。

「王はヨセフが言ったことをみな信じた。彼は神が彼と共におられて、彼こそ問題にあたる当局の長にもっともふさわしい人物であるという事実を印象づけられた。彼は彼がヘブル人の奴隷であるからといって、彼をさげすむことはしなかった。彼はヨセフが卓越した精神をもっていることを見た。『そこでパロは家来たちに言った、「われわれは神の霊をもつこのような人を、ほかに見いだし得ようか」。』（創世記 41:38）。」（霊的賜物 3 巻 151, 152）

「生きた信仰によってキリストを受け入れる人は、神との生きたつながりをもっており、尊いことに用いられる器である。彼は、神の恵みであり、世が買うことのできない宝である天の雰囲気を携えている。」（SDA パイブル・コメント [E・G・ホフ・コメント] 11 巻 1097）

- b. どのように試練や困難はヨセフを変えましたか。そしてパロはどのようにこのことを認めましたか（創世記 41:38-45; 使徒行伝 4:13）。

「王国に臨む危険を指示する知恵を持ち、それに当面するのに必要な準備のある者は、国中でヨセフのほかになかった。そこで王は、彼が提案した計画を実行に移す唯一の資格ある人物がヨセフであることを確信した。神の力がヨセフと共にあったことは明らかであった。しかもこの危機に臨んで、国家の諸問題に対処し得る資格のあるものは、王の役人のなかにひとりもいなかった。ヨセフがヘブル人の奴隷であることなどは、彼の明確な知恵と適正な判断力を考慮したとき、たいした問題ではなかった。『われわれは神の霊をもつこのような人を、ほかに見いだし得ようか』と王は家来たちに言った（同 41:38）。……

ヨセフの品性は、繁栄のときと逆境のときの両方の試練に耐えた。牢獄の中においてあらわされた神への忠誠は、パロの王宮に立ったときにもあらわされた。彼はこのときでさえも異教の地の他国人であり、真の神を礼拝する親族から遠く離れていた。しかし、彼は神のみ手が自分の歩む道を指示したことを心から信じ、神に常に信頼しつつ忠実に与えられた義務を果たしたのである。ヨセフを通して、王やエジプトの高官たちの注目、真の神に向けられた。彼らは偶像礼拝を続けてはいたものの、主なる神の礼拝者の生活と品性にあらわれた原則を尊敬するようになった。」（人類のあけぼの上巻 243, 244）

4. 主によって祝福される

- a. ヨセフは再び本当の自由を見出す前に、何年間試練の時を過ごしましたか（創世記 37:2; 41:46）。なぜそれほど長くかかったのですか（詩篇 27:14; 34:8）。

「定められた広大な軌道にある星のように、神の目的は急ぐことも遅れることもない。」（各時代の希望上巻 22）

「主はご自分が愛される人々が試練の中に導きいれられることをお許しになる。それは彼らが信頼と信仰の尊い教訓を学ぶことができるためである。もし試練が正しく受け入れられるならば、それらはわたしたちの宗教経験において、わたしたちに最高の価値を持つことが分かるようになる。それらがわたしたちをもっと神に固く信頼をおくように導くと、わたしたちはもっとよくこのお方のご品性を知るようになる。」（サイン・オブ・タイムズ 1881 年 3 月 10 日）

「すべての人―最も教育を受けた人にも、もっとも無学な人にも―明らかな証拠がある。それは経験という証拠である。神はわたしたちが自分で、神のみ言葉、ご自分の約束の真理の現実性を試すようにと招いておられる。このお方は『主の恵みふかきことを味わい知れ』とわたしたちにお命じになる（詩篇 34:8）。他の人の言葉に頼らないで自分で味わうべきである。……そしてわたしたちがイエスに近づき、このお方の満ちみちた愛を喜ぶとき、わたしたちの疑いや闇はこのお方のご臨在の光に消えてしまうのである。」（信仰によってわたしは生きる 16）

- b. パロの夢は将来の預言であることを、ヨセフが本当に信じていたことを何が示しましたか（創世記 41:46-49; ヤコブ 2:17-22）。神は彼の信仰をどのように祝福なさいましたか（創世記 41:53-57）。

「ヨセフは全知の統治者として高められたが、神を忘れなかった。彼は自分が異国の地の異国人で、自分の父や兄弟たちと別れわかれになっていることを知っていた。それはしばしば彼に悲しみを生じさせたが、神の御手が自分を重要な立場におくために、道のりを支配してこられたことを固く信じた。そして絶えず神により頼みながら、彼はエジプトの地を治める統治者として、自分の職務のすべての義務を忠実に果たした。『さて七年の豊作のうちに地は豊かに物を産した。そこでヨセフはエジプトの国にできたその七年間の食糧をことごとく集め、その食糧を町々に納めさせた。すなわち町の周囲にある畑の食糧をその町の中に納めさせた。ヨセフは穀物を海の砂のように、非常に多くたくわえ、量りきれなくなったので、ついに量ることをやめた』（創世記 41:47-49）。

ヨセフはエジプトの全地を旅し、巨大な倉庫を建設するように命じた。そして彼のはっきりとした頭脳と卓越した判断力を用いて、長い飢饉に必要な食物を確保するための準備を助けた。」（霊的賜物 3 巻 152, 153）

5. 神はわたしたちを立たせられる

- a. わたしたちはどのようにして自分の進む道に訪れる試練や困難を超越することができますか（イザヤ 40:31; 詩篇 11:1）。

「キリストのみことばをあなたの保証としてかたく信じなさい。主はみもとに來たれとお招きになったのではなかったか。決して失望落胆のことばを言ってはならない。さもないと、大きな損失をするであろう。もしあなたが困難や圧迫に遭遇したとき、その表面だけを見て、つぶやいたりすると、あなたの信仰が病的で薄弱なことをあらわしてしまう。あなたの信仰が、あたかも絶対無敵であるかのように語り、行動しなさい。神は豊かな資源の持ち主である。神は世界を所有しておられる。信仰をもって、天を仰ぎなさい。光と権力と能力の持ち主をながめなさい。

真の信仰は、どんなに年月がたち、また、どんな苦勞があってもゆるがない快活さ、主義に対する忠実さと忍耐強さを持ちつづける。」（キリストの実物教訓 125.126）

- b. 人間の目を通しては不可能に見える事柄であってさえも、ヨセフの経験は何を教えていますか。創世記 39:20 と創世記 41:41 を比較しなさい（マルコ 10:27）。

「主は偶像国家で大きな重荷を担うために、多くの苦難を通して、ヨセフを選ばれた。彼は神が自分のためにお選びになった分野で働くのであった。それは神の知識がエジプト王国に輝き出ることができるためであった。ヨセフは自分の信任を裏切らなかった。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1897 年 5 月 25 日）

「サタンがあなたの道に積みあげた邪魔物は、永遠の山のように乗り越えることができないようにみえても、それは信仰の要求の前には消えうせてしまう。『あなたがたにできない事は、何もないであろう』（マタイ 17:20）。

人の窮地は神の好機である。」（争闘と勇氣 336）

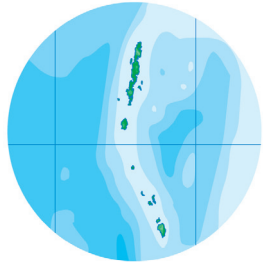
個人的復習問題

1. なぜ神はパロに預言的な夢をお与えになったのですか。
2. 何にもまして、なぜ預言は神の力と存在を証するのですか。
3. もし神によって用いられるとすれば、どのような態度のうちにありべきですか。
4. 神はわたしたちすべてのものがどの体験を持つように望んでおられますか。
5. わたしたちは次回、自分が試練のうちにいるとき、何を思い出すべきですか。

第一安息日献金

インド・アンダマン・ニコバル諸島の教会のために

「インドは 29 州と 7 連邦直轄領からなる議会制度の下に統治された憲法による連邦共和国です。そして多元的、多言語的、多民族的社会です。アンダマン・ニコバル諸島は 7 連邦直轄領の一つです。領地には 7,950 平方キロメートル (3070 平方マイル) に 572 の島々があります。この中のおよそ 34 の島に人が住んでいます。



2009 年の初期に、わたしたちは教会員から受け取った安息日聖書教科を通して改革のメッセージを学びました。またさらに教会のホームページを通して研究し、もっと改革運動の教理について知りたいと関心を表明しました。わたしたちが関心を表明するや否や、改革運動から数名の兄弟たちがわたしたちを訪問しました。その後すぐに、6 人のグループがバプテスマを受け、2010 年にはアンダマン・ニコバル諸島ミッションが形成されました。

新しく創設されたグループとしてわたしたちは個人の家で礼拝してきました。わたしたちは主のための記念塔を建てる土地を手に入れていません。これにはおよそ 8 万ドルが必要ですが、そのうちわたしたちには 2 万ドルしかありません。ここは島の地域で、インド本島からはまったく切り離されているため、通常建築資材は増えている空輸代や船賃で高くなっています。

主の使命者の言葉が今日わたしたちにまでこだましています。「新しく形成された信徒たちのグループがあるところは集会所を必要としていることが、わたしの前にパノラマの光景のように示された。わたしは働き人たちが礼拝の慎ましい家を建てているのを見た。新しく信仰に加わった人々は自発的な手をもって助け、資金を持っている人々は自分の資金で援助していた。」(福音宣伝者 435)

世界中の兄弟姉妹、友人、訪問者のすべての方々にわたしたちが祈りを持って真剣にお願いするのは、このプロジェクトをみなさんの親切と惜しみない心で考慮し、支えてくださることです。主がたしかにその見返りに、ご自分の恵みをもって皆さんを富ませてくださいます。

神の平安が皆さんと共にあり、皆さんを祈りをもって捧げる魂として下さり、世界の中でこの難しく行き届いていない場所におけるこのプロジェクトに向かってその心を開いてくださいますように。

アンダマン・ニコバル諸島の皆さんの兄弟姉妹より

最初の出会い

「愛する者たちよ。あなたがたを試みるために降りかかって来る火のような試練を、何か思いがけないことが起ったかのように驚きあやしむことなく」（ペテロ第一 4:12）

「わたしたちは、天で贖われた者たちが構成する家族の一員として信頼できるかどうかを調べるために、神のみ前にテスト及び試験中なのである。」（クリスチャン教育 145）

推奨文献：人類のあけぼの上巻 247-251

日曜日

3月1日

1. 飢饉の理由

- a. 飢饉がカナンに及ぶことを許された神の隠れたご目的は何でしたか（創世記 42:1, 2; 46:3）。わたしたちは自分たちの試練における神のご目的を見ることができないとき、何をすべきですか（箴言 3:5, 6; ヘブル 11:6）。それはなぜですか。

「わたしたちはみな、自分の祈りにただちに直接的な答えを望む。そしてその答えが遅れたり、期待していた通りに来ないと失望するように誘惑される。しかし、神はいつもわたしたちの願い通りのタイミングと方法で、わたしたちの祈りにお答えになるには、あまりにも賢明でいつくしみ深いお方なのである。このお方はわたしたちのすべての願いを成し遂げてくださるよりも多くのこと、より良いことをわたしたちのためになしてくださる。そしてわたしたちはこのお方の知恵と愛に信頼できるがゆえに、このお方がわたしたちの意志に譲歩して下さることを求めるべきではなく、このお方の目的が始まり、なし遂げられるようにと求めるべきである。わたしたちの願いと関心は、このお方のみ旨のうちに失われるべきである。

わたしたちの信仰を試すこれらの経験は、わたしたちの益のためである。それらによって、わたしたちの信仰が真実で真心からのもので、神のみ言葉だけに依存しているか、あるいは状況に頼って、不確かで変わりやすいものであるかが明らかになる。信仰は働かせることによって強められる。わたしたちは主を待ち望む者には聖書の中に尊い約束があることを覚えて、忍耐にその完全な働きをさせなければならない。」（福音宣伝者 219）

- b. なぜヤコブは十人の息子だけをエジプトへ送ったのですか。彼は何を恐れていたのですか（創世記 42:3, 4）。

2. 誠心のテスト

- a. ヨセフは自分の兄弟たちが食物を求めに来た時に、彼らが自分に頭を下げるのを認めて、すぐに何を考えましたか（創世記 42:5-9; 37:5-8）。

「ヨセフは、兄弟たちが腰をかかめておじぎしているのを見て、かつて彼がみた夢を思い出し、昔の光景がはっきりとよみがえってきた。彼は鋭いまなざしで一同をみわたしたが、ペニヤミンがいないことに気がついた。ペニヤミンも、これらの残忍な兄弟たちの非道な策略のために犠牲になったのではなからうか。彼は、事実を知ろうと思った。」（人類のあけぼの上巻 248）

- b. なぜ兄弟たちはヨセフが分からなかったのですか（創世記 42:8, 23; 41:42, 43, 45）。

「〔ヨセフ〕のヘブルの名は、王に与えられた名前に変えられていたし、このエジプトのつかさと、彼らがイシマエルびとに売った若者とはまったく似かよう点はなかった。」（同上）

- c. ヨセフはなぜ自分の兄弟たちを三日間牢獄へ入れたのですか。そしてこの間、彼らの思いには何があったはずですか（創世記 42:9-17）。

「〔ヨセフ〕は、〔自分の兄弟たち〕が自分と一緒にいたところの高慢な精神を持っているかどうかを知ろうと望んだ。……

監禁された三日間はヤコブのむすこたちにとって苦い悲しみの日々であった。彼らは自分たちの過去の一連の悪い行為、特にヨセフに対する自分たちの残酷さを省みた。彼らはもしスパイだと有罪宣告を受け、自分たちが潔白である証拠を示すことができなければ、みな死ぬか奴隷になるかであることを知っていた。彼らは自分たちのだれかが何か努力をしたからといって、自分たちの父親が、ヨセフに起こったと思っている残酷な死があった後で、ベンジャミンを自分の許から離すとは思えなかった。」（預言の霊 1 巻 140-142）

「神は……わたしたちをつらい状況におき、わたしたちが自分以外の、そして上からの力に信頼するかどうかを調べようとしておられる。すべての人には試練を通して明るみに出されなければならない、発見されずにいる品性の特徴がある。神は自分に満足している人々が、厳しく誘惑されることをお許しになるが、それは自分の無力さを理解できるようになるためである。」（天国で 279）

3. わたしたちは自分がまいたものを刈り取る

- a. 本当にヨセフが心配したのはだれでしたか。それはなぜですか(創世記 42:18-20; 35:16-19)。

「〔ヨセフ〕は、〔自分の兄弟たち〕から自分の父親とベンジャミンに関する何らかの情報を得たいと切望した。……彼の父親とベンジャミンこそ、ヨセフが知りたいと思った人々であった。」(預言の霊 1 巻 140, 141)

- b. 彼の兄弟たちはなぜこの災いが自分たちの上に下ったと考えましたか(創世記 42:21, 22)。この会話はヨセフにどのような影響を与えましたか(23, 24 節(上句))。

「〔ヤコブのむすこたち〕はヨセフを奴隷として売ったので、彼らが奴隷になることを許すことによって神が自分たちを罰せられるご計画なのではないかと恐れた。」(同上 142)

「彼らは互いに、自分たちのヨセフに対するあつかいがまちがっていたことを反省し、『確かにわれわれは弟の事で罪がある。彼がしきりに願った時、その心の苦しみを見ながら、われわれは聞き入れなかった。それでこの苦しみに会うのだ』と言った(創世記 42:21)。ドタンでヨセフを救おうと計ったルベンが『わたしはあなたがたに、この子供に罪を犯すなど言ったのではないか。それにもかかわらず、あなたがたは聞き入れなかった。それで彼の血の報いを受けるのです』とつけ加えた(創世記 42:21, 22)。ヨセフはもはや感情をおさえることができず、外に出て泣いた。」(人類のあけぼの上巻 250)

- c. 自分たちの生涯において事態がうまくいかないと、だれを責めるよう誘惑されますか(創世記 42:24-28)。彼らの問題の本当の原因は、だれでしたか(ガラテヤ 6:7, 8; 民数記 32:23)。

「ああ、罪のはなはだしい罪深さについて、老若の思いに正しい印象が与えられるように! ああ、すべての人が、罪がどれほど神に忌み嫌われ、また人類にとって損害となるか正しく悟ればよいのだが! 真理の言葉は次のように宣言している、『その罪は必ず身に及ぶ(罪は必ずあなたを探し出す)』(民数記 32:23)。あなたの生涯の一つ一つの行動の真の性質が知られるようになる。この世の生涯においても神のみ摂理によって、予期しない事態が、あなたの秘密の悪の行為を明らかにすることであろう。しかし、もし人の目からはあなたの本当の品性を隠すことに成功したとしても、わたしたちが生きていることができるために死んでくださったキリストの力を通して、自分の罪を悔い改めることをせず、またすべての悪を捨てずにいるすべての魂にとって、避けることのできない暴露の日が用意されている。」(レブ・アド・ハラルド 1888 年 2 月 27 日)

4. 品性の啓示

- a. なぜシメオンが牢獄に残されたのですか（創世記 42:24）。ヤコブが知らせを聞かされたとき、その反応はどうでしたか（29-36 節）。

「それからまたもどってきて、ヨセフは兄弟たちの前でシメオンをしぼり、牢獄に入れた。かつて彼らがヨセフを残酷にあつかったとき、シメオンが兄弟たちをそそのかした主謀者であった。彼が選ばれたのは、そのためであった。」（人類のあけぼの上巻 250）

「ベンジャミンに執着するヤコブの愛情は、母親のありったけの愛情の強さであった。彼は自分がどれほど深くヨセフの損失を感じたかを示した。しかし、欠乏がヤコブとその子らにのしかかり、彼らの家族は食物を求めて叫んでいた。」（霊的賜物 3 巻 158, 159）。

- b. ルベンとユダの宣言は、ヨセフを裏切って以来、兄弟たちの父親に対する愛情と互いを思う愛情がどれほど深まったかを、なぜ表しているか説明しなさい（創世記 42:37; 43:8, 9）。

「ヨセフが兄弟たちから離れていた年月の間に、ヤコブの子らは品性が変わっていった。彼らは、かつてはしつと心が強く、乱暴で、人をだまし、残酷で執念深かった。しかし、こうして逆境の中で試練にあったときに、彼らは無我の精神をあらわし、互いに真実で父に孝養をつくし、彼ら自身すでに中年に達していたが、父の権威に従うようになった。」（人類のあけぼの上巻 249）

- c. 事態が悪くなると、わたしたちは家庭の中で、しばしばどのような傾向を表しますか（創世記 43:1-7）。この弱さの源はどこですか（創世記 3:12, 13; 黙示録 12:10）。

「どの家族も熱心に祈って、神のみわざを行なうための助けを主に求めよう。彼らがせっかちに話す習慣や、他人を非難しようとする欲望を克服するようにさせよう。彼らが家庭の中では親切で礼儀正しくなり、思慮深く注意する習慣をつくるように、勉強させよう。

性急なことばを口にすることによって、家族の間にどれほど害悪が生ずることだろう。なぜなら一人が性急なことばをしゃべると、他の者が同じような気持ちとやり方で言い返すようになるからである。そこで報復的なことばや自己弁護のことばが口に出てくる。そしてあなたの首に、重苦しくいらだちを起こすくびきかはめられるのは、そのようなことばのためである。というのは、すべてこのような苦々しいことばは、あなたの魂に有害な収穫となってもどってくるからである。」（アドベンチスト・ホーム 501）

5. 神の憐れみに信頼することを学ぶ

- a. ヤコブが追いつめられたことを感じたとき、だれの手に明け渡さざるをえませんでしたか(創世記 42:19, 20; 43:8-14; 詩篇 33:18-22)。

「ヤコブは自分のむすこベンジャミンを兄弟たちと共に行かせざるをえないと感じた。彼はまた統治者の恩寵を得ることを望みつつ、贈り物も送った。彼はまた自分のむすこたちに二倍の金を持っていき、彼らの袋の中に見つけた金も返すように命じた。なぜなら、それは間違っておかれたかもしれないからである。彼は彼らに言った、『弟も連れ、立って、またその人の所へ行きなさい』(創世記 43:13)。

自分のむすこたちが不確かな旅へ出るために自分を離れていこうとしているときに、年老いた父親は立ち上がって、彼らの真ん中に立ち、自分の両手を天へ上げ、主に彼らと共に行って下さるようと嘆願した。そして彼らの上に恵みの祝福を宣言した。『どうか全能の神がその人の前であなたがたをあわれみ、もうひとりの兄弟とベニヤミンとを、返させてくださるよう。もしわたしが子を失わなければならないのなら、失ってもよい』(14節)。(霊的賜物 3巻 159, 160)

- b. わたしたちが圧倒される状況に直面するとき、いつもだれにより頼むことができますか(哀歌 3:22, 23; 詩篇 103:13-17)。

「もし〔わたしたちの救いの将〕に生きた信仰によってすがり、ヤコブと共に『わたしを祝福してくださらないなら、あなたを去らせません』と言うならば(創世記 32:26)、もしわたしたちが『わたしをみ前から捨てないでください。あなたの聖なる霊をわたしから取らないでください』と嘆願するなら(詩篇 51:11)、わたしたちへの約束は、『わたしは、決してあなたを離れず、あなたを捨てない』である(ヘブル 13:5)。(わたしたちの高い召し 22)

個人的復習問題

1. 悲観的な状況が、どのようにして長い目で見れば、わたしたちの益となりえるかを説明しなさい。
2. 神の預言に、わたしたちはどれほど信仰をおくことができますか。
3. わたしたちは罪を隠そうと誘惑されるとき、何をいつも思い出すべきですか。
4. 家族の危機はしばしばどのように真の品性を表しますか。
5. 憐れみとは何ですか。なぜわたしたちは憐れみにこれほど依存しているのですか。

二回目の出会い

「わたしのいましめは、これである。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。人がその友のために自分の命を捨てること、これよりも大きな愛はない。」(ヨハネ 15:12, 13)

「愛のうちには、非難のうちに見出されるよりも、大きな力がある。愛は障壁を通してその道を溶かすが、非難は魂へのすべての道を閉ざしてしまう。」(教会への証 3 卷 94)

推奨文献：サインズ・オブ・タイムズ 1880 年 1 月 29 日

日曜日

3 月 8 日

1. 復讐の恐れ

- a. ヨセフが自分の兄弟たちのために晩さん会を用意しているときに、彼らの思いの中を一番占めていたのは何ですか (創世記 43:16-22)。

「つかさの邸宅に連れてゆかれた兄弟たちは、袋の中にあつた金包みのことで呼ばれたのではないかと大きな不安にかられた。彼らは、自分たちを奴隷にするために金がわざと袋の中に入れられたのだと思った。困り果てた兄弟たちは、ヨセフの家づかさに、自分たちがエジプトに來た事情や、自分たちがなんの罪もないことを証明するために、袋の中にあつた金包みをもってきたこと、それから食糧を買うための金も持ってきたことなどを話し、「われわれの銀を袋に入れた者が、だれであるかは分かりません」とつけ加えた (創世記 43:22)」(人類のあけぼの上巻 252, 253)

- b. しもべの反応は、どのようにヨセフがエジプトにおいて本当の伝道者であったことを告げていますか (23 節；ローマ 10:13-15)。

「ヨセフを通して、王やエジプトの高官たちの注目は、真の神に向けられた。彼らは偶像礼拝を続けてはいたものの、主なる神の礼拝者の生活と品性にあらわれた原則を尊敬するようになった。」(人類のあけぼの上巻 244)

2. 成就した夢

- a. ヨセフは20年後に初めて自分の弟を見たとき、どのように感じましたか(創世記 43:24-30)。

「ヨセフが彼らと共にいるベンジャミンを見たとき、兄弟の愛情をかりうじて抑えた。彼は自分の兄弟たちが自分と共に食事をするための準備をするよう命じた。……

ヨセフが家に来たとき、兄弟たちは自分たちの父の名によって贈り物を捧げ、地にひれ伏した。」(預言の霊 1 巻 145, 146)

「ヨセフはもう一度前に見た夢を思い出した。ヨセフは、彼の客へのあいさつがすむとすぐ、『あなたがたの父、あなたがたがさきに話していたその老人は無事ですか。なお生きながらえておられますか』とたずねた。『あなたのしもべ、われわれの父は無事で、なお生きながらえています』と兄弟たちは答えてもう一度礼をした(創世記 43:26-28)。それから、ヨセフはベニヤミンに目をとめて、『これはあなたがたの前に わたしに話した末の弟ですか』と言った。『わが子よ、どうか神があなたを恵まれるように』となつかしさのあまり言っただけで、それ以上何も言えなかった。彼は『へやにはいって泣いた』(創世記 43:27-30)。」(人類のあけぼの上巻 253)

- b. ヨセフの兄弟たちは、ヨセフと食事をするときに、自分たちの間で何に驚きましたか(31-33 節)。

「ヨセフは自分の兄弟たちを食卓につかせたが、年齢が知られているときの習慣どおり、最も年長な者から始まって、その生まれながらの権利に従い、彼らを最も若い者へまで順番通りに並べた。あたかも彼が完全に彼らの年齢を知っているかのようであった。彼の兄弟たちは、自分たちの年齢を知る由もないと思っていたヨセフのこの行為に驚いた。」(預言の霊 1 巻 146, 147)

- c. なぜヨセフは兄弟たちの前でベンジャミンを手厚くもてなそうとしたのですか(34 節)。

「〔ヨセフ〕が、それぞれの兄弟に食べ物の一前を送るとき、ベンジャミンには他の者たちの 5 倍を送った。彼がそうしたのは、自分の兄弟ベンジャミンに対する特別な思いを示すためばかりではなく、彼らを試し、ベンジャミンに対しても、自分に対するのと同じ嫉妬の気持ちをもって見ているかを知るためであった。彼らはヨセフが自分たちの言葉を理解しているとは思わなかったので、彼の目の前で互いに自由に会話した。そのため、ヨセフには彼らに知られることなく、彼らの気持ちの真の状態を知る良い機会となった。」(同上 147)

3. 愛という試金石

- a. ヨセフは、なぜベンジャミンの袋に杯を入れることによって、注目を引きましたか（創世記 44:1-6）。

「彼は、さらに兄弟たちをためそうと思い、彼らが出発する前にヨセフ自身の銀の杯を末の弟の袋の中にかくすように命じた。

彼らは喜んで出発した。シメオンもベニヤミンも彼らと共にいる。動物の背中には穀物が積まれていた。兄弟たちは、やっと自分たちを囲んでいるようにみえた危機から安全に脱出したと思った。しかし、彼らが町はずれに着くか着かないうちに、家づかさが追いついて、『あなたがたはなぜ悪をもって善に報いるのですか……』ときびしく問いただした（創世記 44:4）。」（人類のあけぼの上巻 254）

- b. 兄弟たちはベンジャミンの袋の中に杯を見たとき、どのように反応しましたか（創世記 44:11-13）。なぜしもべは長兄から始めたのですか。

「王や統治者たちは、自分の飲む杯を持っていた。それはもし何か毒物が飲み物の中に入れられていると確実に検知すると考えられていた。……『そこで〔ヤコブのむすこたち〕は、めいめい急いで袋を地におろし、ひとりひとりその袋を開いた。〔ヨセフの〕家づかさは年上から捜し始めて年下に終ったが、杯はベニヤミンの袋の中にあつた』（創世記 44:11, 12）

この発見に全員が大いに驚いた。そして自分たちの大きな嘆きを表現するために、彼らは自分たちの衣をさいた。それは大きな苦痛の時の習慣であつた。ベンジャミンは他の兄弟たちよりも驚いて、困惑した。彼らは悲しみ恐れながら都へ引き戻した。彼らは自分たちの過去の悪のゆえに神のみ手が彼らに逆らっているのだと思った。」（預言の霊 1 巻 147, 148）

- c. わたしたちが確信を持っているときでさえも、自分の言葉を注意深く選ぶことは、なぜ重要なのですか（創世記 44:7-10; マタイ 12:36, 37）。

「自分自身の約束によって、ベンジャミンは奴隷の人生に定められた。そして彼らは、自分たちの父親の恐怖が完全に実現するのだと思った。被害が彼の大きい愛するベンジャミンに下つたのであつた。」（同上 148）

4. 兄弟たちの愛が表わされる

- a. ユダのどの行為が、20 年前に兄弟たちが犯した裏切りの罪を、彼らが完全に悔い改めていることを示していますか（創世記 44:14-34; ヨハネ 15:12, 13）。

「ユダは自分の兄弟たちに、神が自分の兄弟をエジプトに売った悪を見出されて、今、彼らも奴隷になることをお許しになることによって、彼らの上にその不法を返しておられるのだと告げた。

ヨセフはユダの言葉に従って、すべての者を奴隷として受け入れることを拒んだ。……ユダは残りの者をおいてヨセフと語り、父親がベニヤミンをエジプトに連れてくることをどんなにためらったか、また自分自身がベンジャミンの保証人となり、もし彼を父のところへ連れ帰らなければ、永久にその罪を負うと誓ったことを告げた。彼は自分の父親のために雄弁に嘆願し、ヨセフを失った時の彼の大変な悲しみ、また父親の愛した母親の残したのはベンジャミンだけであること、またもしベンジャミンが父親から離されたら、彼の命は子どもの命と結びついているため、彼が死ぬであろうことを述べた。ユダはそれから気高く、兄弟の代わりに自分が奴隷となることを申し出た。なぜなら、彼はベンジャミンなしに自分の父親に会うことはできなかったからである。」（預言の霊 1 巻 148, 149）

- b. ユダがベンジャミンを助け、自分の父親を悲しみから救うように嘆願した後、ヨセフは何をせずにはいられませんでしたか（創世記 45:1, 2）。

「ヨセフは満足した。彼は自分の兄弟たちを試してみ、彼らの罪の真の悔い改めの実を彼らのうちに認めた。そして彼は深く心を動かされ、これ以上自分の感情を隠すことができなかったのも、自分と自分の兄弟たちだけにするように要求した。彼はそのときからえきれずに長い間抑えていた感情をあらわし、声をあげて泣いた。」（同上 149）

- c. なぜ兄弟たちはヨセフがあかしたことを聞いて、心配したのですか（創世記 45:3, 4）。

「〔ヨセフの〕兄弟たちは恐れ驚いて身動きひとつせず、立ったまま黙っていた。しっとにかられて殺そうと企て、ついに、奴隷に売ってしまった弟ヨセフが、エジプトのつかさになっているとは。ヨセフを苦しめたすべての悪行が、彼らの目に浮かんだ。彼らは、ヨセフが見た夢をさげすみ、けんめいになってその実現を妨げようとしたことを思い出した。ところが、今、彼ら自身が実際にその通りのことを行なっているのである。今や彼らはまったくヨセフの手中におかれていた。疑いもなく、ヨセフは自分が受けたひどい取り扱いの仕返しをするだろうと思うのであった。」（人類のあけぼの上巻 257, 258）

5. 許し：癒すもの

- a. ヨセフはどのようにして、自分の兄弟たちの気持ちに対する気遣いと彼らへの許しを示しましたか（創世記 45:5）。

「ヨセフは兄弟たちの困惑を見て、彼らに言った、『わたしに近寄ってください。』彼らが近寄ったので彼は言った、「わたしはあなたがたの弟ヨセフです。あなたがたがエジプトに売った者です。」」（創世記 45:4）。彼は気高くもこの場の状況なるべく彼らにとって耐えやすいものにしようとした。彼には非難することによって彼らの狼狽を増し加えようとの願いはなかった。彼は彼らが自分に対する残酷さのゆえに十分苦しんだことを感じた。そこで彼らを慰めようと努めた。」（預言の霊 1 巻 150）

- b. どのような人間関係であっても、癒され、回復される唯一の方法は何ですか（マタイ 18:21, 22; コロサイ 3:12, 13）。回復のための最大のつまずきの石は何ですか（箴言 13:10）。

「過失を指摘されることははずかしいことである。不必要に非難して、さらにつらい思いをさせてはならない。非難されてよかったことはなく、かえってそのために多くの者は反撥して、良心の声に対して心をかたくなにする。やさしい精神、おだやかな、人をひきつけるような行為は、まちがいを犯している者を救い、多くの罪をおおうことができる。」（ミストリー・オブ・ヒーリング 141）

「もし、誇りと利己心が取り除かれれば、たいていの問題は、五分間で解決する。自己を正当化するために多くの時間が用いられることを、天使たちは悲しみ、神は不快に思われる。」（初代文集 223）

個人的復習問題

1. もしわたしたちがヨセフがしたように、自分たちの光が輝くようにさせるなら、周囲にいる人々に何が起こりますか。
2. なぜヨセフはなおも自分の兄弟たちを信頼するのに用心していたのか説明しなさい。
3. なぜヨセフは杯をベンジャミンの袋の中に入れるよう命じたのですか。
4. ヨセフはどのようにして自分の兄弟たちが変わったことを知りましたか。
5. 和解のための最大のつまずきの石は何であり、だれですか。

家族が再び一つに

「神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画（目的）に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。」（ローマ 8:28）

「あらゆる経験や環境はわたしたちに善がもたらされるための神の働き人である。雲の後ろに光を見よう。」（今日のわたしの生涯 185）

推奨文献：サインズ・オブ・タイムズ 1880 年 2 月 5 日

日曜日

3月15日

1. 神の導き

- a. ヨセフは、以前に起こったすべてのことは神のみ摂理の結果としてもたらされたのであって、人間の意志によるものではないことを、どのように自分の兄弟たちに表しましたか（創世記 45:5-13）。
- b. クリスマンとして、常に何を求め、認めるべきですか（ヤコブ 4:13-15; 箴言 16:9; マタイ 26:39）。

「今日も、なお、多くの人々が試みを受ける。……彼らは、天から直接語られる神の声を聞かないが、神は、神のみことばの教訓と摂理のできごとによって彼らを召される。富と栄誉を約束する職業を捨てて、気の合った有益な仲間を離れ、親族と別れ、克己と困難と犠牲だけを要求するように思われる道に進むように要求されるであろう。神は、彼らに仕事をさせようとしておられる。しかし、安易な生活、友人や親族の感化は、その働きを完成するのに必要な品性の発達を妨げるのである。神は、彼らを人間的感化や援助から遠ざけて彼らに神の助けの必要を感じさせ、ただ神にだけ頼るように導いて、彼らにご自身を啓示しようとなさるのである。心に秘めた計画や親しい友との交わりを捨てて、神の摂理の召しに応じる者はだれであろうか。キリストのための損は利益であると考えて、新しい任務を引き受け、働きが始められていない地に行き、堅い決心のもとに喜んで神のみわざに従事するのはだれであろうか。」（人類のあけぼの上巻 124）

2. 良き知らせ

- a. もしわたしたちが神の方法だけを待つならば、それらはどれほど喜ばしいですか（創世記 45:14, 15）。ヨセフの兄弟たちは何を告白しなければなりませんでしたか。

「〔ヨセフの兄弟たち〕は、へりくだって自分たちがヨセフに対して行った悪を告白し、彼の許しを求め、彼が生きていたことを知って非常に喜んだ。なぜなら、彼らは彼に対する残酷な行為以来、自責の念と心痛に苦しんでいたからである。そして今、彼らは彼の血について罪がないことを知って、悩んでいた思いから解放された。

ヨセフは喜んで自分の兄弟たちを許し、彼らに豊かな食料、備え、また自分の父親の家族と彼ら自身の家族がエジプトに移り住むために必要なすべてのものを提供して送り出した。」（預言の霊 1 巻 151）

- b. どのできごとが、自分の弟に対するヨセフの大きな愛情を表していますか（創世記 45:16-23）。なぜヨセフは兄弟たちが出発するときに、警告したのですか（24 節）。

「〔ヨセフ〕は、〔自分の兄弟たち〕が口論に入り、彼に対する自分たちの残酷な取り扱いに関して自分たちの罪の原因を互いのせいにするのではないかと案じた。」（同上 151, 152）

- c. ヤコブはヨセフがまだ生きているという知らせにどのように反応しましたか。また兄弟たちは長年の後に、どの嘆かわしい罪を告白しなければなりませんでしたか（創世記 45:25-28）。

「ヤコブのむすこたちは、『ヨセフはなお生きていてエジプト全国をつかさです』という喜びの知らせをもって父のところに帰った。ヤコブは最初、驚きのあまり、それをほんとうだと信じることができなかった。しかし、車や、荷物を積んだ家畜の長い列を見、もうひとたびベニヤミンを見たヤコブは、それを信じた。『満足だ。わが子ヨセフがまだ生きている。わたしは死ぬ前に行って彼を見よう』と喜びにみたされて叫んだ（創世記 45:26, 28）。

十人の兄弟たちは、もうひとつ身を低くしてなすべきことがあった。彼らは、長年父の生涯を苦しめ、また、彼ら自身の生活を悲惨なものにした欺瞞と残酷な行為とを父に告白した。ヤコブは、彼らがそれほど卑劣な罪を犯していたとは思わなかった。しかし、神がすべてのことをよいように支配してくださったので、むすこたちのあやまちを許し、祝福した。」（人類のあけぼの上巻 259, 260）

3. ヤコブは再びむすこを得る

- a. わたしたちは、約束されたカナンの地を去る前に神の祝福を確かめることを望んだヤコブの方法から何を学ぶべきですか(創世記 46:1-7)。

「〔ヤコブ〕は心の喜びを持って旅を始めた。そしてベエルシバへ来たとき、彼は感謝の犠牲をささげ、彼を祝福して下さるように、また彼らがエジプトへ移ることをお喜びになるかを知らせて下さるように、神に嘆願した。ヤコブは神が自分たちと共に行って下さるという証拠を神から望んだのである。〔創世記 46:2-4 引用〕。」(預言の霊 1 卷 152)

「わたしたちは自分たちのすべての重荷を持って主の許へ行き、一步ごとに自分たちを導く上からの知恵を求めなければならない。」(サインズ・オブ・タイムズ 1892 年 8 月 15 日)

- b. 神はご自分の民がエジプトへ移ることをなぜ望まれたのですか(創世記 46:3; 12:1, 2; 詩篇 105:17, 20-24)。

「アブラハムに対してその子孫が星の数ほどになるとの約束が与えられたが、それでも選民の数はわずかずつしかふえてゆかなかった。それにカナンの地も預言されたような大いなる国民の発展には十分な土地ではなかった。そこには強力な異教民族が住みついており、『四代目』になるまでは占領できないことになっていた(創世記 15:16)。もしもイスラエルの子孫がここで数の多い民族になるとすれば、彼らはカナンの人々を追放するか、あるいは彼らの中に離散するかしなければならなかった。……しかしながら、エジプトは神の御目的の成就に必要な条件がそなわっていたのである。灌漑もよく、肥沃なエジプトの一地区が彼らに開放され、そこは人口が急速に増加するのに好都合であった。」(人類のあけぼの上巻 260)

- c. ヤコブの消えかかっていた願いはどのようにかなえられましたか(創世記 46:29, 30)。

「〔ゴセンの地に〕ヨセフは、エジプトのつかさの乗る車に乗り、多くのいかめしい従者たちを従えて到着した。彼は、自分を取りまく華麗な光景も彼の威厳ある地位のことも忘れてしまった。彼は、ただ一つのことでは心がいっぱいになり、ただ一つの熱望に心をおどらしていた。彼は、旅人たちが近づいてくるのを見ると、長年の間心に秘めていた父を慕う気持ちを、もはやおさえることができなかった。彼は馬車からとびおり、父のもとにかけよって歓迎した。」(同上 261)

4. 復讐を求めない

- a. なぜヤコブはヨセフに自分の体をカナンの地へ持ちかえるように誓わせたのですか(創世記 47:27-31; 17:8)。
- b. ヨセフの兄弟たちはヤコブが死んだとき、何をおそれましたか。それはなぜでしたか(創世記 50:14-18)。

「ヤコブを埋葬したのち、兄弟たちの心はふたたび恐怖に満たされた。ヨセフは兄弟たちを親切にあつかったにもかかわらず、彼らは良心の苛責から不信と疑惑をいだいた。ヨセフは父親のことを考えてふくしゅうを遅らせたのであろう。ヨセフは、こんどこそ長い間延ばしていた罪の罰を、自分たちに与えるだろうと彼らは考えた。兄弟たちはあえて直接ヨセフのもとに行こうとはせず、『あなたの父は死ぬ前に命じて言われました、「おまえたちはヨセフに言いなさい、『あなたの兄弟たちはあなたに悪をおこなったが、どうかそのとがと罪をゆるしてやってください』。』……このことづけを聞いてヨセフは泣いた。兄弟たちは、勇気を出して彼のもとに来て、「このとおり、わたしたちはあなたのしもべです」と言って彼の前にひれ伏した』。ヨセフの兄弟たちに対する愛は深く、無我の精神から出たものであったが、兄弟たちがまだ自分にふくしゅうの精神があると思っていることに心を痛めた。彼は言った。『恐れることはありません。わたしが神に代ることができましょうか。』」(人類のあけぼの上巻 270, 271)

- c. なぜヨセフは憤慨してもいなければ、復讐心に燃えてもいなかったかを説明しなさい(創世記 50:19-21; ローマ 12:17-21)。

「ヤコブの兄弟たちが彼の前に自分たちの罪を認めたとき、彼は彼らを惜しみなく許し、慈善と愛の行為によって、彼がかつての彼に対する残酷な行為に復讐心を抱いてはいないことを示した。」(ザイズ・オブ・タイムズ 1880年2月5日)

「もっともよくありがちな罪の一つで、もっとも有害な結果を伴うものは、許さない精神をほしいままにすることである。どれほど多くの人々が恨みや復讐心を抱きながら、神のみ前に来て、自分たちが許すごとくお許し下さいと祈ることであろう。たしかに彼らはこの祈りの真の意味を理解しているはずがない。さもなければそれをあえて口にするのではないであろう。……もし日々のあらゆる交わりの中で、クリスチャンがこの祈りの原則を実行しているならば、なんという変化が教会内に、また世界にもたらされることであろう!これこそ聖書の宗教の現実性に対して与える最も説得力のある証となるのである。」(教会への証 5巻 170, 171)

5. 約束された地

- a. ヨセフは死ぬ前に、どの預言的な約束を自分の愛する者たちに与えましたか。またこの約束を果たすために、だれが召されましたか（創世記 50:22-26; 出エジプト記 3:1-10）。

「[出エジプト記 3:2-10 引用]。神がモーセの羊飼いの杖を神の杖に取り換えたときに、時は完全に満ちたのであった。その杖をこのお方はしるしと奇跡を行うのに、またご自分の民を圧制から救出するのに、そして敵に追跡されたときに彼らを守るのに、力強いものとされるのであった。」（霊的賜物 3 巻 188）

- b. なぜこの約束はヨセフと彼の子孫にとってそれほど重要だったのですか（創世記 17:7, 8; ヘブル 11:13-16）。

「神は、この永遠の嗣業の光景をアブラハムに見せられた。彼は、この希望をいだいて満足した。『信仰によって、他国にいるようにして約束の地に宿り、同じ約束を継ぐイサク、ヤコブと共に、幕屋に住んだ。彼は、ゆるがぬ土台の上に建てられた都を、待ち望んでいたのである。その都をもくろみ、また建てたのは、神である』（ヘブル 11:9,10)。

アブラハムの子孫について、次のように書かれている。『これらの人はみな、信仰をいだいて死んだ。まだ約束のものは受けていなかったが、はるかにそれを望み見て喜び、そして、地上では旅人であり寄留者であることを、自ら言いあらわした』（13 節）。われわれも「もっと良い、天にあるふるさと」を獲得しようと思うならば、この地上で旅人、また寄留者の生活をしなければならない（16 節）。アブラハムの子孫は、彼が待ち望んだ、神が『もくろみ、また建てた』都を求めるのである。』（人類のあけぼの上巻 180）

個人的復習問題

1. 神のみ摂理を信じることは、どのようにわたしたちの人生における態度を変えることができますか。
2. わたしたちの罪を後になってからよりは、早く告白する方が、なぜはるかに良いのですか。
3. なぜ神がご自分の民をエジプトへ導かれたのか、その数々の理由を挙げなさい。
4. どの罪がしばしば兄弟間の愛情と平和を破壊しますか。
5. 父祖たちの信仰はどこに焦点を合わせていましたか。

キリストの型

「キリスト・イエスにあっていただいているのと（キリスト・イエスのうちにあるのと）同じ思いを、あなたがたの間でも互に生かしなさい。」（ピリピ 2:5）

「ヨセフの生涯はキリストの生涯を代表している。」（人類のあけぼの上巻 271）

推奨文献：教会への証 2 巻 200-215

日曜日

3 月 22 日

1. 自分の兄弟たちに裏切られる

- a. ヤコブのむすこたちのヨセフに対する裏切りと、キリストへの裏切りは、どのように類似していますか（創世記 37:18; ヨハネ 1:11; マタイ 21:37-39）。

「ヨセフの生涯はキリストの生涯を代表している。兄弟たちがヨセフを奴隷に売ったのはねたみからであった。彼らは、ヨセフが自分たちより偉大なものになるのを止めようと思った。彼がエジプトに連れてゆかれたとき、自分たちはこれ以上、彼の夢に悩まされることはない、これで実現の可能性は完全になくなったと得意がった。しかし、彼らの行動はすべて神の支配のもとにおかれて、彼らが妨げようとしたできごとそのものを成就することになった。同じようにユダヤびとの祭司や長老たちは、人々の評判が次第にキリストのほうに傾くことを恐れてキリストをねたんだ。彼らは、キリストが王になることを妨げようとして彼を殺したが、かえって彼ら自身がキリストを王位につける結果をもたらしたのである。」（同上）

- b. ヨセフを売ったことは、ユダがキリストを売ったことと、どのように類似していますか（創世記 37:28; マタイ 26:14-16）。

「ヨセフはわずかな金銭で自分自身の兄弟によって敵に売られた。神の御子はご自身の弟子のひとりによって、ご自分の最も苦い敵に売られた。イエスは柔和で聖なるお方であった。このお方の生涯は比類のない自己否定、善、そして聖潔の生涯であった。彼はいかなる悪に対しても無罪であられた。しかし偽りの証人たちが、このお方に不利な証のために雇われた。このお方は罪と墮落の忠実な譴責者であられたために憎まれた。」（SDA パイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 1 巻 1096）

2. 不当に告発される

- a. ヨセフとキリストの衣に何が起こりましたか (創世記 37:23, 31; マタイ 27:28, 35)。

「ヨセフの兄弟たちは色彩豊かな彼の上着を彼からはぎとった。イエスの死刑執行人たちは、このお方の縫い目のない衣のためにくじを引いた。」(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 1 巻 1096)

- b. ヨセフとキリストに反対した人々の行為は、どのように彼ら自身の救いをもたらしたのですか (創世記 50:20, 21; 使徒行伝 2:36-38)。

「ヨセフは、自分の兄弟によってエジプトへ売られることによって、父の家族にとつての救済者となった。しかし、この事実が彼の兄弟たちの罪を減じるのではなかった。キリストの敵によるキリストの十字架は、このお方を人類の贖い主、墮落した人類の救い主、また全地の統治者とした。しかし、彼の敵の犯罪は、神のみ摂理の手がご自身の栄光と人類の益のために事件を支配されなかった場合とまったく同様に憎むべきものなのであった。」(サイン・オブ・タイムズ 1880 年 2 月 5 日)

- c. 苦しみにおけるヨセフの態度は、キリストの苦しみをどのように象徴していましたか (創世記 39:19, 20; イザヤ 53:6-8)。

「ヨセフは神と共に歩んだ。そして彼が自分の無実のために投獄され、苦しんだとき、彼はつぶやくことなくそれに柔和に耐えた。彼の自制、逆境における忍耐、そして揺るがない忠誠は、後に地上に生きることになるすべての人の益のために記録として残された。」(同上)

「十字架のそばに盲目で自分の意見に凝り固まった信仰のない祭司や長老たちがいて、なじり、嘲り、やじっていた。『神殿を打ちこわして三日のうちに建てる者よ。もし神の子なら、自分を救え』(マタイ 27:40) ……」

イエスはこれらすべてに一言もお応えにならなかった。釘がご自分のみ手に打ち込まれる間、苦悩の汗の滴りがこのお方の汗腺から噴き出て、無実の苦難者の青ざめたふるえる唇からは、ご自分の殺人者たちのための許しの愛の祈りがささやかれた。『父よ、彼らをおゆるしください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです』(ルカ 23:34)。』(教会への証 2 巻 208, 209)

3. 誉れへと高められる

- a. 牢獄から解放された後、ヨセフは第二の統治者とされ、新しい名が与えられました。そしてすべての者は彼に頭を垂れるのでした。このことは、キリストが死の牢獄から解放された後と、どのように対比できますか（創世記 41:41-45；ヘブル 10:12, 13; 1:3, 4; ピリピ 2:9-11）。

「人が反逆したとき、キリストは人の保証人となり身代わりとなられた。このお方は闇の権力者たちとの戦いを引き受けられた。そして死を通して、死の力を持つ者を滅ぼしたとき、最高の栄誉がこのお方に授けられた。このお方は高いところへ昇り、とりこを捕えて引き行き、神の右の座に就かれた。すなわち、わたしたちのために罪の呪いを負われたイエスそのお方であつた。そしてこのお方にすべての名にまさる名が与えられ、イエスのみ名によってすべてがひざをかがめるのであつた。このお方に神はご自分の力を委任された。このお方は死と墓のかぎを持っておられる。」（パイプ・エコー 1889 年 1 月 15 日）

- b. ヨセフとキリストの両者の生涯の使命において、どのような類似点が見られますか。神は命を救うために、それぞれをどのようにお用いになりましたか（創世記 45:5-8; ヨハネ 3:16, 17; 6:53, 63; 5:24）。

「十字架につけられ、よみがえられた救い主の物語は神のみ言葉の大中心の主題である。詩篇に、預言に、福音書に、手紙に、神は啓示によって、失われた人類の救いのために備えられた御父と御子の間の合意に関する重大な諸々の真理を際立たせてこられた。

キリストは世界を救うために十字架にかかれた。ご自分の敵のために、神に反逆する人類のために、わたしたちの救い主は人間の肉体が耐えうる痛みの最も激しい苦悩を経験された。このお方は罪人たちが滅びる必要がないように、豊かな備えをなされた。このお方の十字架上の死の苦悩の光のうちに、わたしたちはだれでも真に悔い改め、このお方を個人的な救い主として受け入れる者は永遠の命を受けることを知ることができる。」（ビュー・アソッド・ヘルド 1908 年 9 月 24 日）

「福音の招待は全世界に与えられるべきである……

世界は、福音の欠乏のために滅びつつある。神のみことばのききんがくる。人間の言い伝えをまぜないでみことばを説教するものはほとんどいない。人々は聖書を手にしているけれども、神が彼らのために聖書の中に備えてくださった祝福を受けていない。主は、人々にご自身のメッセージを伝えるためにしもべたちをお召しになった。罪の中に滅びつつあるものに、永遠の命のききんを伝えなければならない。（キリストの実物教訓 208, 209）

4. 約束された地

- a. どのような意味において、ヨセフの体をカナンへ運ぶことは天のカナンの希望を象徴しているのですか（創世記 50:25; 出エジプト記 13:18, 19; ヘブル 11:22, 39, 40）。

「その後、苦役の幾世紀かが続いたが、その棺はヨセフの臨終の言葉を思い出させるのであった。そして、イスラエルびとに、彼らがエジプトの寄留者にすぎないことをあかしし、約束の地を待望しつづけるように命じた。なぜなら、解放の時は必ず来るからであった。」（人類のあけぼの上巻 272）

「ユダヤ国家にとって唯一の希望は、キリストを受け入れ、自分たちの罪を捨て、神と和解することにあった。キリストと結合することによって、彼らは本当に偉大な国家となるのであった。このお方は過去に彼らのために働いてこられたように彼らのために働かれるのであった。もし彼らが従順であれば、このお方は彼らを地上のカナンに植えられたように、天のカナンへ導いて下さるのである。」（サインズ・オブ・タイムズ 1898 年 7 月 21 日）

- b. この世を通じてわたしたちが旅をするとき、わたしたちの希望は何ですか（テサロニケ第一 4:13-18; ヨハネ 14:1-3）。

「わたしたちは実にここでは寄留者であり、さらに良い国へ向かう旅人である。わたしたちの将来の家は天のカナンであり、そこでわたしたちは『水晶のように輝いているいのちの水の川』から飲むのである。『この川は、神と小羊との御座から出て』ている（黙示録 22:1）。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1885 年 11 月 17 日）

「わたしはあなたに、あなたは危機がどれほど速やかに訪れるかを知らないと告げるように命じられている。それは盗人のように徐々にわたしたちに忍び寄っている。太陽は諸天に輝き、その通常の軌道をめぐり、諸天はなおも神の栄光を宣言している。人々は自分たちの通常の営みを続け、食べ、飲み、植え、建て、めとり、とついでいる。商売人はなお売買に携わり、出版物は次々と発行されている。人々は互いに押し合いへし合い、最高の場所を得ようとしている。娯楽愛好者はまだ劇場、競馬場、賭博場へ行き、最高の興奮が行き渡っている。しかし、恩恵期間は速やかに閉じつつあり、すべての人の判決は永遠に決定されるばかりである。勝ち取るべき天国があり、避けるべき地獄があることを心と魂をもって信じている人はほとんどいない。しかし、これらの人々は自分たちのわざによって、自分の信仰を表すのである。」（両親、教師、生徒への勧告 413, 414）

5. キリストのご品性

- a. ヨセフのように神に忠実になることのできる唯一の方法は何ですか（ピリピ 2:5; コリント第二 3:18; ヘブル 12:2）。

「キリストのうちに宿る人に与えられる特権は尊い。……キリストの思いはこのお方に忠実に従う人々のうちに宿り、彼らの願いはこのお方のみ旨に調和している。彼らの嘆願はこのお方の御霊によってつづられる。彼らは自分たちの祈りに答えを得る。なぜなら、彼らはこのお方が喜んで与えて下さるような祝福を求めるからである。」（わたしたちの高い召し 147）

- b. この悪の蔓延している終わりの時代に、わたしたちは他の何物にもまして、何を願うべきですか（ヨハネ第一 3:2, 3; ペテロ第一 2:21-23; 5:10）。

「人間が神とまじわるとき、異国の墮落した宮殿の中で、ダニエルやヨセフを守った確固不拔の決意がその生涯を清浄無垢にする。その品性の衣には一点の汚れもない。その生活からはキリストの光が輝き、輝くあけの明星は、不変の栄光をもってその上にいつも照るのである。

こういう人は、社会における力の分子となり、罪惡に対する防衛となり、誘惑にかかる者を守り、困難と失望の中に正しい道をさがしている人々をみちびく光となる。」（ミストリー・オブ・ヒーリング 108）

「わたしたちはこの世を一度通るだけである。わたしたちは自分と接触している人々にキリストのご品性の印象を残すよう懸命に努めないであろうか。」（教会への証 9 巻 193）

個人的復習問題

1. 忠実な者にとって、しばしばだれが最悪の敵ですか。
2. 真理のために迫害されるとき、わたしたちの態度はどうあるべきですか。
3. 世界は今日何に飢え渴いていますか。また救済をもたらすために、わたしたちはどのように助けることができますか。
4. なぜ忠実な者たちは、この世において旅人であり、寄留者だとみなされるのですか。
5. わたしたちがヨセフの生涯を考えると、何が最も顕著に際立っていますか。

第一安息日献金

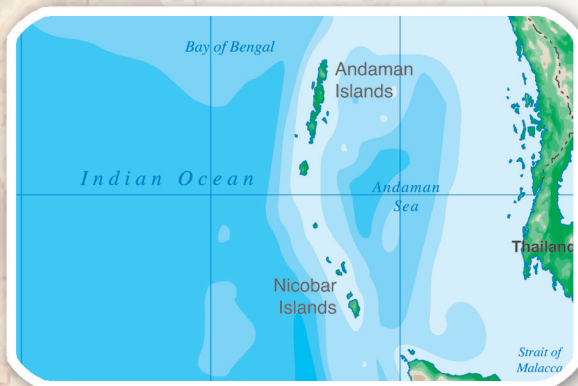


1月3日

ナイジェリアの教会のために
(4 ページ参照)

2月7日

世界総会教育センターのために
(25 ページ参照)



3月7日

インド・アンダマン・ニコバル諸
島の教会のために
(51 ページ参照)